

子どもたちにかかわる地域の団体等の実態調査

結果報告書

平成24年1月

新潟市教育委員会 生涯学習課

はじめに

次代を担う子どもたちに対して必要な「生きる力」は、学校教育のみならず、地域社会等において異世代・異年齢等の様々な人々との交流や、多様な体験などとあいまってはぐくまれ伸長していくものです。

しかし、近年、少子高齢化、核家族化、情報化の進展等により、人間関係が希薄となり、地域の連帯感が失われつつあり、地域の教育力の再生の取組が必要になっていきます。

新潟市教育委員会では、本市の教育の方向と在り方を指し示した『新潟市教育ビジョン』に沿った取組を着実に進めるために『後期実施計画（平成22～26年度）』を策定し、「生涯を通じて学び育つ活動を支援し、家庭・地域の教育力を高める」ことを重点的な取組の1つとしています。

そして、平成22年3月に策定した『新潟市生涯学習推進基本計画（平成22～26年度）』においても、家庭教育支援や地域社会全体の教育力を向上させるための取組の推進が必要であるとしています。

本報告書は、地域において活動している様々な団体が、そこにおいて子どもたちとのかかわる活動の実施状況や、地域全体で子どもたちをはぐくむことについての意識や要望等について調査をおこない結果をまとめたものです。

実施にあたっては、第29期新潟市社会教育委員会会議において、調査項目の検討をおこない、各章ごとに委員からの解説をいただきました。同会議では、平成22年5月から「家庭と地域における教育力の向上について」協議を進めていただいております。今後は、昨年度に実施した「家庭と地域の教育力に関するアンケート（市民意識調査）」の結果と併せて協議・検討を重ね、平成23年度中に建議としてまとめていく予定です。

最後になりましたが、調査にご協力をいただいた数多くの団体の皆様に心から感謝し、厚くお礼を申し上げます。

平成24年1月

新潟市教育委員会 生涯学習課

目次

I. 調査概要	1
II. 調査結果	7
1. あなたの団体について	9
(5) 活動の分野	9
(6) 会員数	11
(7) 会員の職業	13
(8) 活動の曜日	14
(9) 主な活動時間帯	15
(10) 1回当たりの実活動時間	16
(11) 年間の活動日数	17
2. 地域で団体が子どもたちにかかわる活動の様子について	19
(1) 活動の有無	19
(2) 活動内容	21
(3) 活動状況	22
(4) 活動がうまくいっている要因	24
(5) 活動がうまくいっていない要因	25
(6) 活動をおこなった感想	26
(7) 活動をおこなって良かったこと	29
【あなたの団体にとって】	29
【地域にとって】	30
【子どもたちにとって】	31
(8) 活動をおこなっていない理由	32
「2. 地域で団体が子どもたちにかかわる活動の様子について」の総括	33
3. 他の団体や機関などとの協力や連携の状況について	34
(1) 協力や連携の有無	34
(2) 協力や連携の相手先	36
(3) 今後望む協力や連携の相手先	37
(4) 「協力や連携を図っていないが、今後は図る必要がある」団体が望む協力や連携の相手先	38
(5) 「協力や連携を図っていない」団体の理由	39
(6) 協力や連携に期待すること	40
(7) 地域全体で子どもたちをはぐくむために力を入れるべきこと	41
「3. 他の団体や機関などとの協力や連携の状況について」の総括	43
III. 自由記述	45
IV. 全体結果数表	59
V. 調査票	71

I . 調查概要

1 調査目的

本市内において、青少年育成に資する活動を行っていると思われる各種団体について、地域の子どもたちとかかわる活動の実施状況や、地域全体で子どもたちをはぐくむことへの意識や要望を把握し、今後の施策を検討するための基礎資料として活用するため本調査を実施する。

2 調査項目

- (1) 第1章 あなたの団体について（団体のプロフィール）
- (2) 第2章 地域で団体が子どもたちにかかわる活動の様子について
- (3) 第3章 他の団体や機関などとの協力や連携の状況について

3 調査の設計

- (1) 調査地域 新潟市全域
- (2) 調査対象・標本数・抽出方法 下表のとおり

調査対象	標本数	抽出方法
青少年育成協議会	45	新潟市青少年育成協議会加盟団体
小・中学校PTA	171	新潟市PTA連合会加盟団体
婦人会	18	新潟県婦人連盟に加盟する市内の婦人会
民生委員児童委員連絡協議会、 青少年アドバイザーの会	76	新潟市民生委員児童委員連絡協議会加盟団体、新潟市青少年アドバイザーの会(1)
子ども会	209	平成23年度新潟市子ども連絡協議会加入団体
ボーイ・ガールスカウト、健民 少年団、海洋少年団	20	日本ボーイスカウト新潟地区協議会加盟団体(13)、ガールスカウト新潟市連絡協議会加盟団体(7)、新潟市健民少年団(1)、新潟海洋少年団(1)
NPO法人	205	新潟県認証のうち、市内に所在地があるもの
地域コミュニティ協議会	98	市内にあるすべてのコミュニティ協議会
事業所・企業	970	「平成18年事業所・企業統計調査」（総務省）登載のうち、市内に所在地のある教育・学習支援及び医療・福祉に係るもの
スポーツ少年団	131	平成22年度スポーツ少年団登録の市内の団体
伝統文化に関わる団体	49	各区地域課把握のうち、調査の了解が得られた団体

※抽出方法の（ ）内の数字は、団体数である。

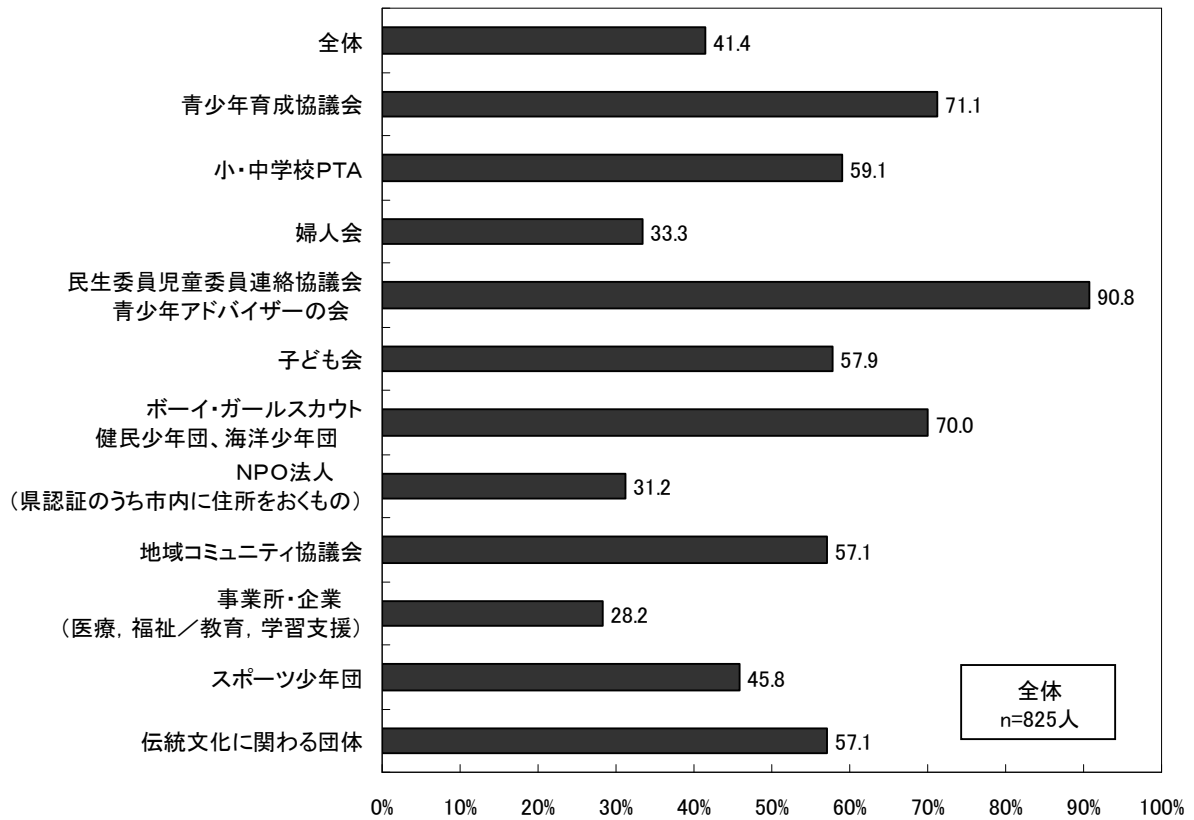
- (3) 本調査における「子ども」・「地域」の定義
 - ①「子ども」… 0歳～中学生まで
 - ②「地域」… 小学校区または中学校区程度の範囲
- (4) 調査方法 郵送法（調査票の配布・回収とも）
- (5) 調査期間 平成23年6月27日～7月11日

4 集計結果の数字の見方

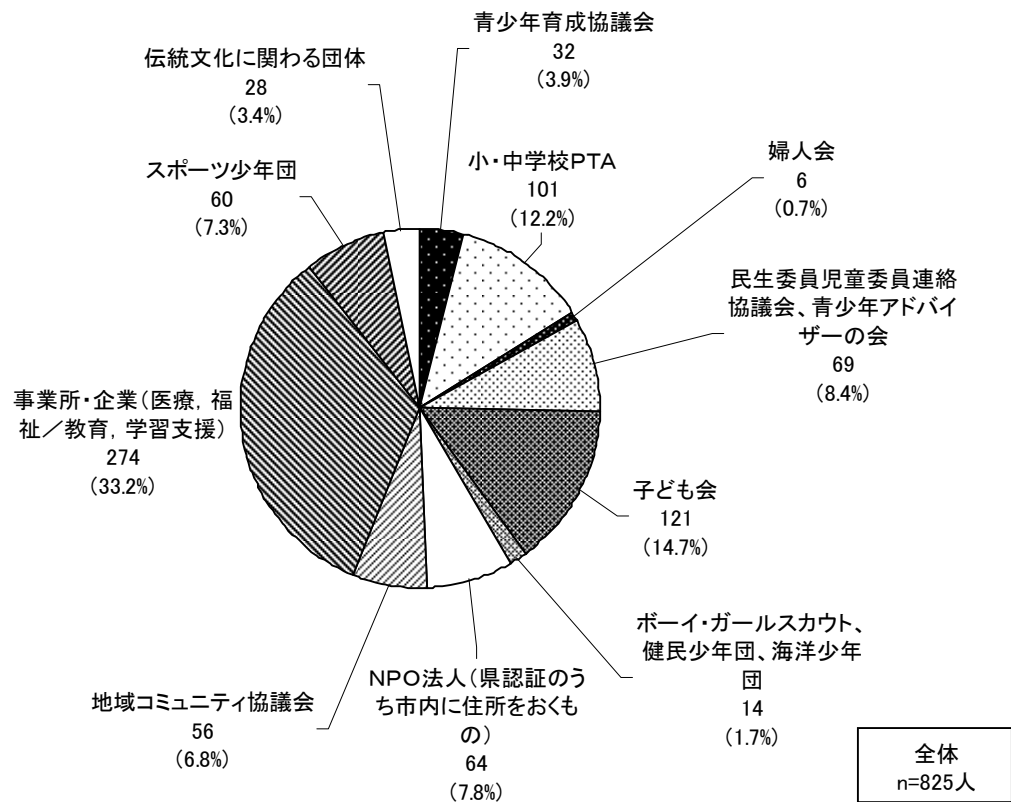
- (1) 結果は百分率（%）で表示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した結果、個々の比率が100%にならないことがある。
また、複数回答（2つ以上の回答）では、合計が100%を超える場合がある。
- (2) 図表中の「n」は、質問に対する回答団体の総数を示し、回答団体の比率（%）を算出するための基数である。問2・問3・問6の「n」は、問1で「おこなっている」と「無回答」の合計である

5 回収結果

	標本数	有効 回答数	回収率 (%)
全体	1,992	825	41.4
青少年育成協議会	45	32	71.1
小・中学校PTA	171	101	59.1
婦人会	18	6	33.3
民生委員児童委員連絡協議会、 青少年アドバイザーの会	76	69	90.8
子ども会	209	121	57.9
ボーイ・ガールスカウト、健民少年団、海洋少年団	20	14	70.0
NPO法人（県認証のうち市内に住所をおくもの）	205	64	31.2
地域コミュニティ協議会	98	56	57.1
事業所・企業（医療，福祉／教育，学習支援）	970	274	28.2
スポーツ少年団	131	60	45.8
伝統文化に関わる団体	49	28	57.1



《調査団体区分別割合》



II. 調查結果

1. あなたの団体について（団体のプロフィール）

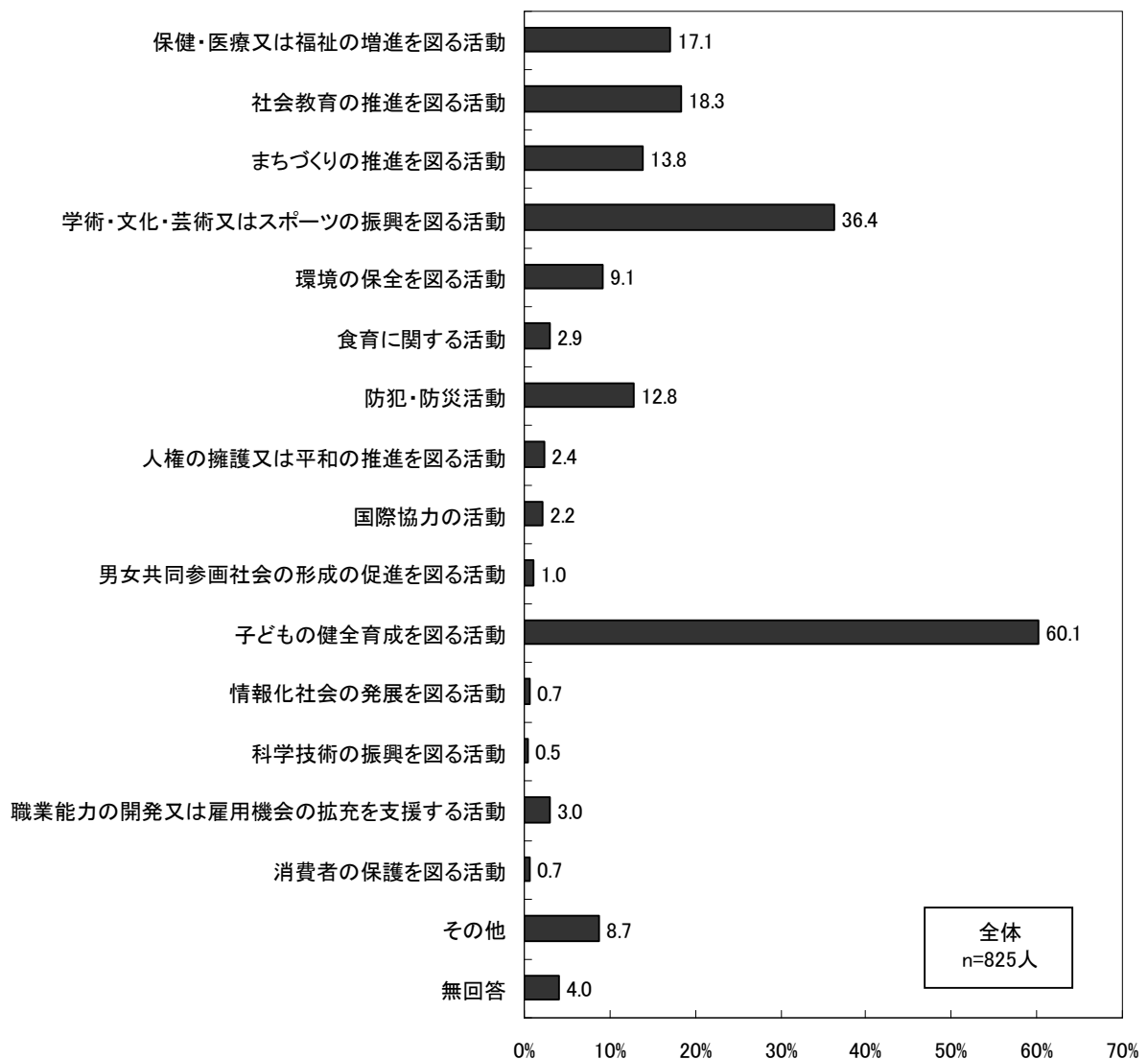
- (1) 団体名
 - (2) 代表者名
 - (3) 所在地
 - (4) 記入者（問い合わせ先）
- } 省略（記述式回答）

(5) 活動の分野

活動の分野について、あてはまるもの3つまで選び○をつけてください。（3A）

団体の活動分野をみると、「子どもの健全育成を図る活動」（60.1%）が最も多く6割を超えている。次に「学術・文化・芸術又はスポーツの振興を図る活動」（36.4%）、「社会教育の推進を図る活動」（18.3%）、「保健・医療又は福祉の推進を図る活動」（17.1%）の順に続く。

子どもの健全育成にかかわる団体が多いことが分かる。



活動分野と調査団体区分との関連

婦人会、NPO法人、事業所・企業を除いた調査団体区分では、「子どもの健全育成を図る活動」が5割以上を占めている。

「NPO法人」の活動分野では、「保健・医療又は福祉の増進を図る活動」(40.6%)が最も多い。次に「子どもの健全育成を図る活動」(28.1%)、「まちづくりの推進を図る活動」(23.4%)、「環境の保全を図る活動」(21.9%)の順に続く。

「事業所・企業」の活動分野では、「学術・文化・芸術又はスポーツの振興を図る活動」(62.4%)が最も多く6割を超えている。次に「子どもの健全育成を図る活動」(28.5%)、「保健・医療又は福祉の推進を図る活動」(19.3%)、「社会教育の推進を図る活動」(17.9%)の順に続く。

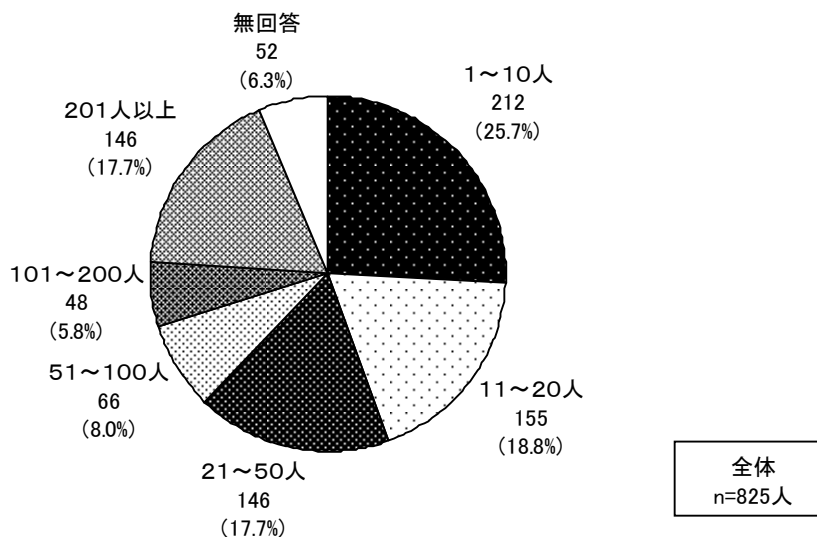
	(5)活動の分野																		
		保健・医療又は福祉の増進を図る活動	社会教育の推進を図る活動	まちづくりの推進を図る活動	学術・文化・芸術又はスポーツの振興を図る活動	環境の保全を図る活動	食育に関する活動	防犯・防災活動	人権の擁護又は平和の推進を図る活動	国際協力の活動	男女共同参画社会の形成の促進を図る活動	子どもの健全育成を図る活動	情報化社会の発展を図る活動	科学技術の振興を図る活動	職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動	消費者の保護を図る活動	その他	無回答	
全体 (n=825)		17.1	18.3	13.8	36.4	9.1	2.9	12.8	2.4	2.2	1.0	60.1	0.7	0.5	3.0	0.7	8.7	4.0	
調査団体区分	青少年育成協議会 (n=32)	-	34.4	9.4	12.5	31.3	6.3	34.4	6.3	-	-	87.5	-	-	-	-	-	6.3	
	小・中学校PTA (n=101)	2.0	18.8	5.0	23.8	10.9	3.0	14.9	-	-	-	85.1	-	-	-	-	9.9	5.0	
	婦人会 (n=6)	50.0	16.7	50.0	-	-	16.7	16.7	-	-	16.7	-	-	-	-	33.3	-	33.3	
	民生委員児童委員連絡協議会、青少年アドバイザーの会 (n=69)	56.5	17.4	24.6	4.3	7.2	1.4	34.8	5.8	-	-	91.3	-	-	1.4	1.4	13.0	-	
	子ども会 (n=121)	2.5	8.3	15.7	5.8	9.1	2.5	7.4	-	-	-	90.9	-	-	-	-	2.5	2.5	
	ボーイ・ガールスカウト、健民少年団、海洋少年団 (n=14)	-	57.1	-	-	28.6	-	-	7.1	28.6	7.1	100.0	-	-	-	-	-	7.1	-
	NPO法人 (県認証のうち市内に住所をおくもの) (n=64)	40.6	14.1	23.4	14.1	21.9	9.4	6.3	10.9	4.7	4.7	28.1	4.7	4.7	14.1	3.1	12.5	1.6	
	地域コミュニティ協議会 (n=56)	25.0	8.9	62.5	17.9	25.0	5.4	67.9	-	-	-	50.0	-	-	-	-	3.6	1.8	
	事業所・企業 (医療、福祉／教育、学習支援) (n=274)	19.3	17.9	2.6	62.4	2.2	1.5	1.5	2.2	3.6	0.7	28.5	1.1	0.4	5.5	0.4	11.3	6.2	
	スポーツ少年団 (n=60)	1.7	36.7	1.7	81.7	-	1.7	-	-	-	-	91.7	-	-	-	-	5.0	-	
	伝統文化に関わる団体 (n=28)	-	17.9	32.1	82.1	-	-	-	-	3.6	3.6	57.1	-	-	-	-	17.9	7.1	

(6) 会員数

会員数（事業所・企業は従業員数または職員数と読みかえて回答してください）について、子どもは含めずにあてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。
(SA)

団体の会員数をみると、「1～10人」(25.7%)が最も多い。次に「11人～20人」(18.8%)「21人～50人」(17.7%)、「201人以上」(17.7%)の順に続く。

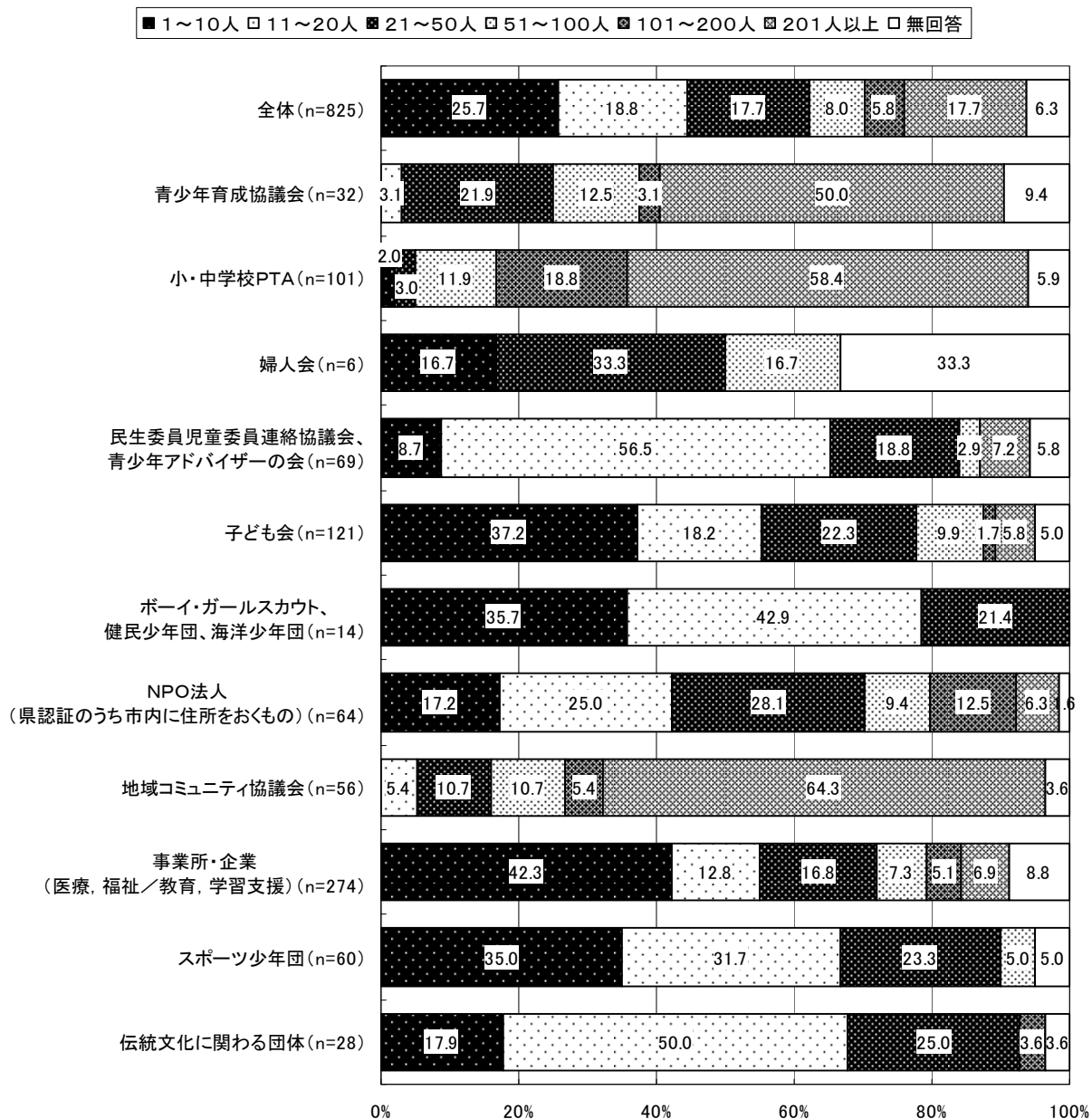
50人以下の団体が多い（6割を超えている）ことが分かる。



会員数と調査団体区分との関連

会員数が51人以上の比較的規模の大きい団体の割合を調査団体区分別でみると、「小学校PTA、中学校PTA」(89.1%)、「地域コミュニティ協議会」(80.4%)、「青少年育成協議会」(65.6%)では6割を超えている。

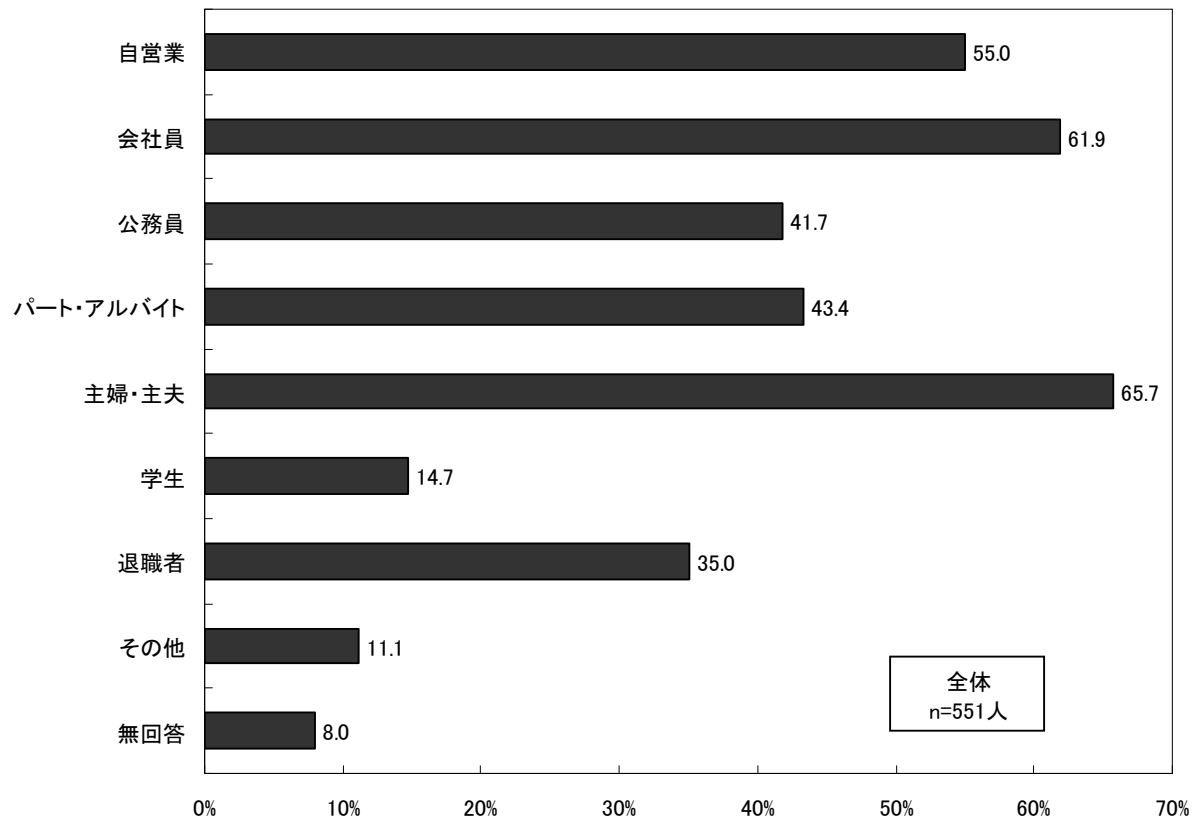
一方、「ボーイスカウト、ガールスカウト、健民少年団、海洋少年団」(0%)、「スポーツ少年団」(5.0%)、「伝統文化に関わる団体」(3.6%)では5%以下である。



(7) 会員の職業（事業所・企業は除く）

会員の職業として、あてはまる番号にすべて○をつけてください。（MA）

会員の職業をみると、「主婦・主夫」（65.7%）が最も多い。次に「会社員」（61.9%）、「自営業」（55.0%）、「パート・アルバイト」（43.4%）の順に続く。

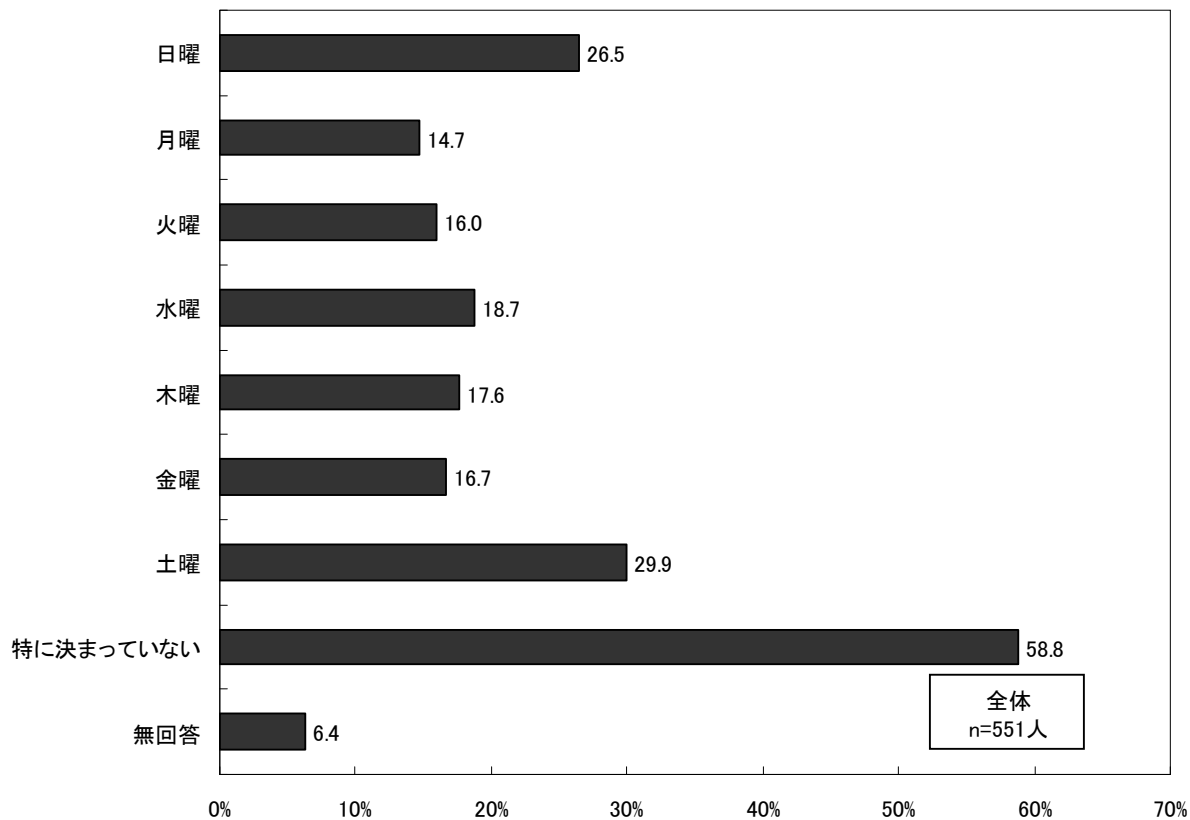


(8) 活動の曜日（事業所・企業は除く）

活動の曜日として、あてはまる番号にすべて○をつけてください。（MA）

活動の曜日を見ると、「特に決まっていない」（58.8%）が最も多く6割近くを占めている。次に「土曜」（29.9%）、「日曜」（26.5%）、「水曜」（18.7%）の順に続く。

平日の各曜日に比べて土曜日・日曜日の活動がやや多いことが分かる。



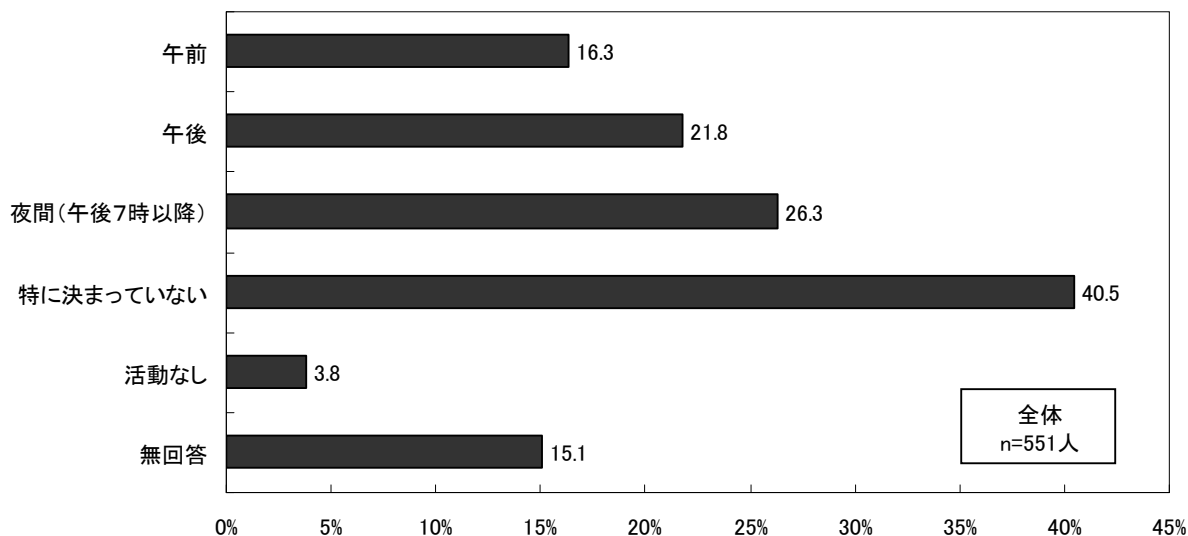
(9) 主な活動時間帯（事業所・企業は除く）

主な活動時間帯として、平日（月～金）とそれ以外の日について、それぞれあてはまる番号にすべて○をつけてください。（MA）

① 平日（月～金）

平日における主な活動時間帯をみると、「特に決まっていない」(40.5%)が最も多い。次に「夜間（午後7時以降）」(26.3%)、「午後」(21.8%)の順に続く。

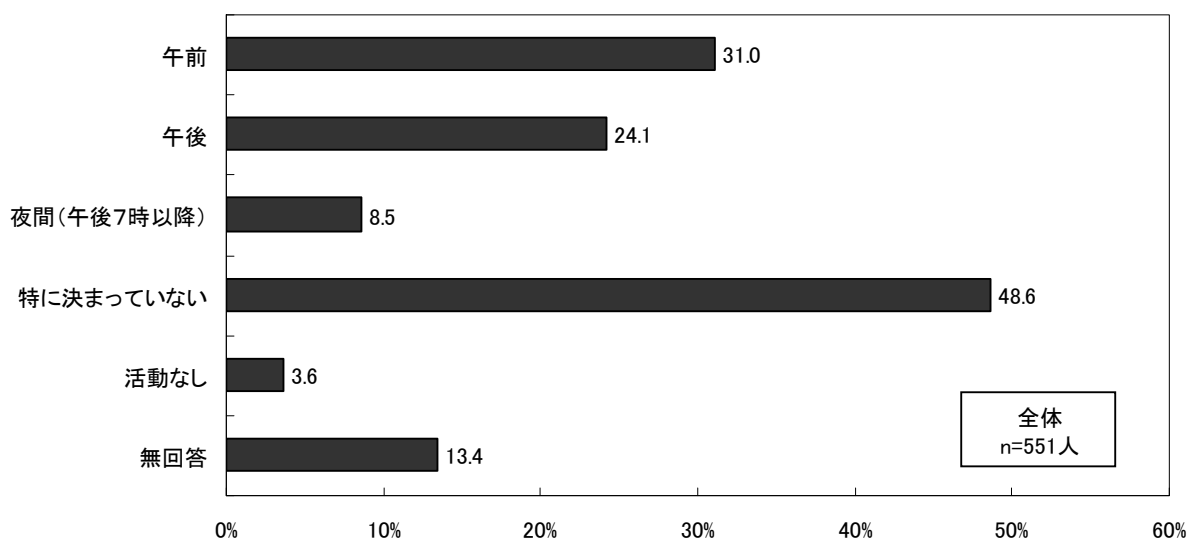
午後と夜間（午後7時以降）に比べて午前の活動がやや少ないことが分かる。



② 土・日・祝日

土・日・祝日における主な活動時間帯をみると、「特に決まっていない」(48.6%)が最も多い。次に「午前」(31.0%)、「午後」(24.1%)の順に続く。

午前と午後と比べて夜間（午後7時以降）の活動がかなり少ないことが分かる。

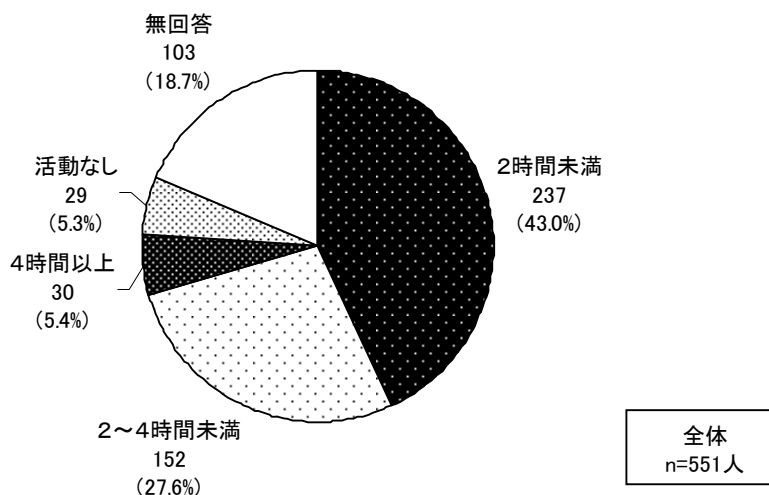


(10) 1回当たりの実活動時間（事業所・企業は除く）

1回当たりのおおよその実活動時間について、平日（月～金）とそれ以外の日について、それぞれあてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。（SA）

① 平日（月～金）

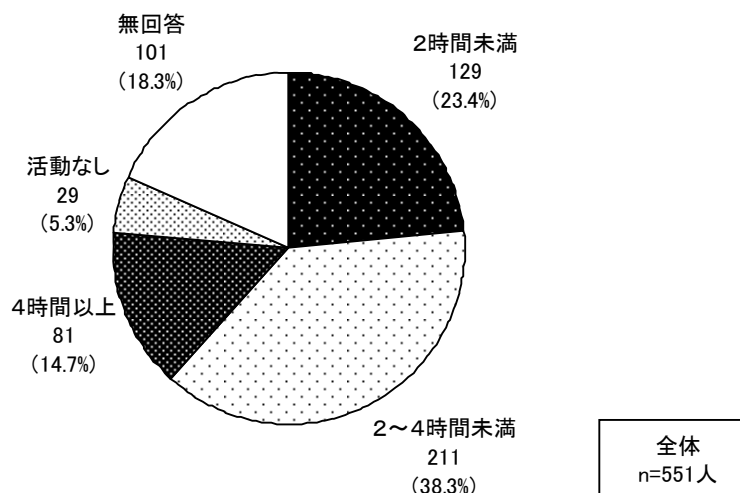
平日における1回当たりの実活動時間をみると、「2時間未満」(43.0%)が最も多い。次に「2～4時間未満」(27.6%)、「4時間以上」(5.4%)の順に続く。



② 土・日・祝日

土・日・祝日における1回当たりの実活動時間をみると、「2～4時間未満」(38.3%)が最も多い。次に「2時間未満」(23.4%)、「4時間以上」(14.7%)の順に続く。

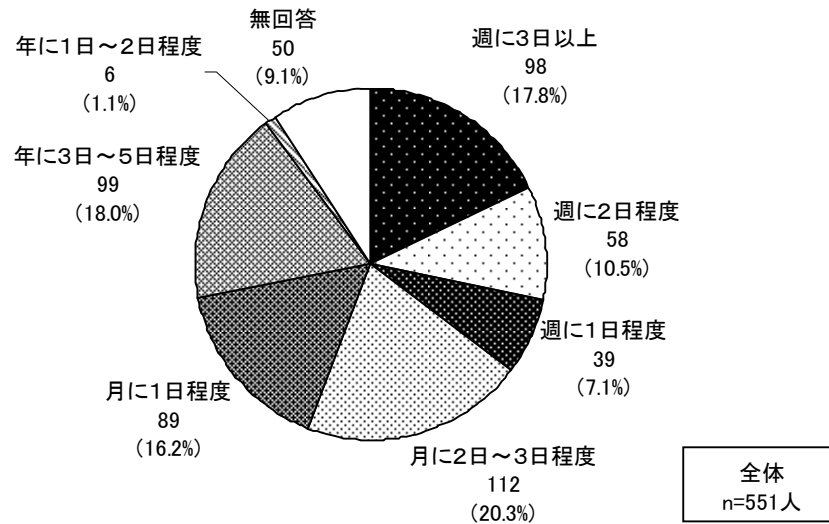
平日に比べて、2時間以上の割合が20ポイント高く、4時間以上でも9.3ポイント高く、活動時間がやや長いことが分かる。



(11) 年間の活動日数（事業所・企業は除く）

年間のおおよその活動日数について、あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。（SA）

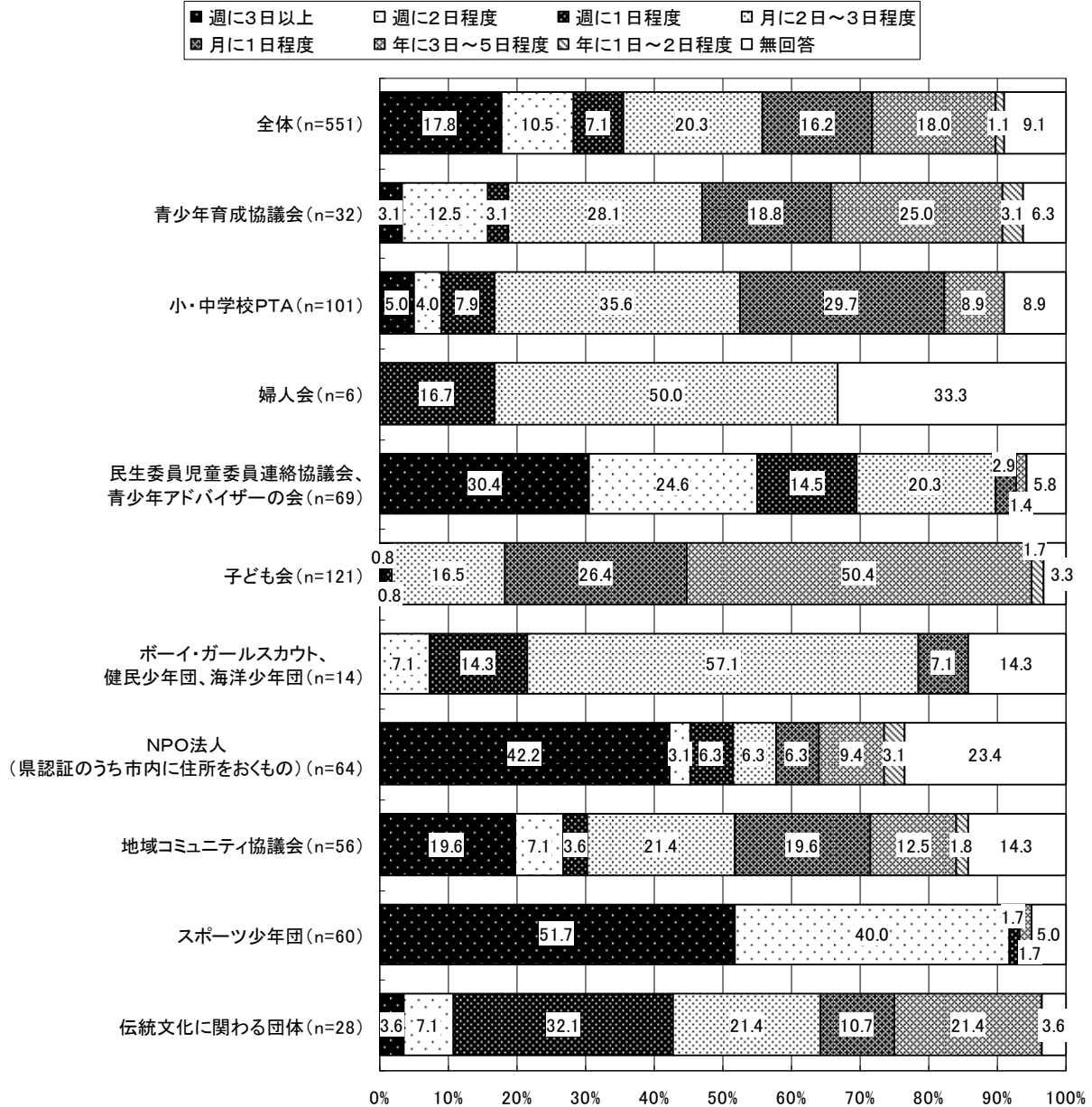
年間の活動日数をみると、「月に2日～3日程度」（20.3%）が最も多い。次に「年に3日～5日程度」（18.0%）、「週に3日以上」（17.8%）、「月に1日程度」（16.2%）の順に続く。月に1日以上活動している団体が多い（7割を超えている）ことが分かる。



年間の活動日数と調査団体区分との関連

週に1日以上活動している比較的活動頻度の高い団体の割合を調査団体区分別で見ると、「スポーツ少年団」(93.4%)が最も多く9割を超えている。次に「民生委員児童委員連絡協議会、青少年アドバイザーの会」(69.5%)、「NPO法人」(51.6%)、「伝統文化に関わる団体」(42.8%)の順に続く。

一方、「子ども会」(1.6%)は2%以下で、他の調査団体区分に比べてかなり少ない。



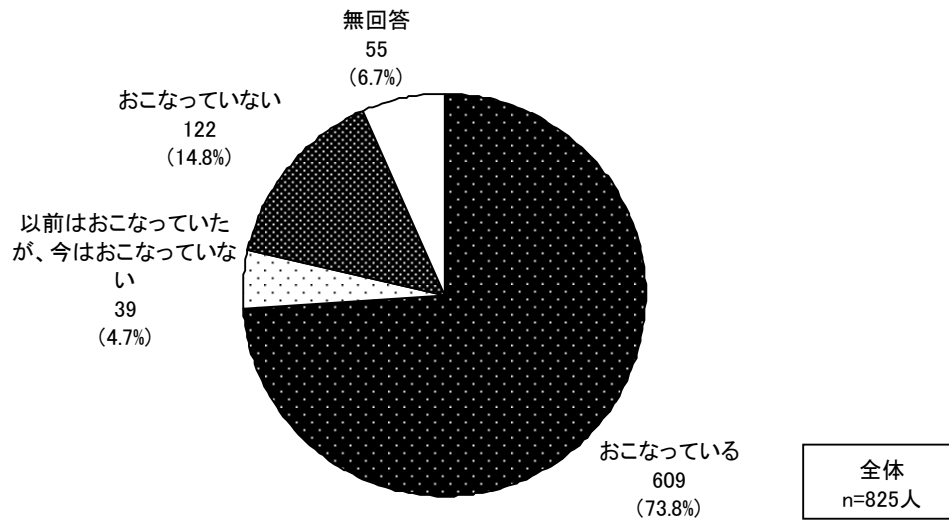
2. 地域で団体が子どもたちにかかわる活動の様子について

(1) 活動の有無

問1 地域において、あなたの団体は子どもたちにかかわる活動をおこなっていますか。
あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。(SA)

活動の有無をみると、「おこなっている」(73.8%)が7割を超えている。

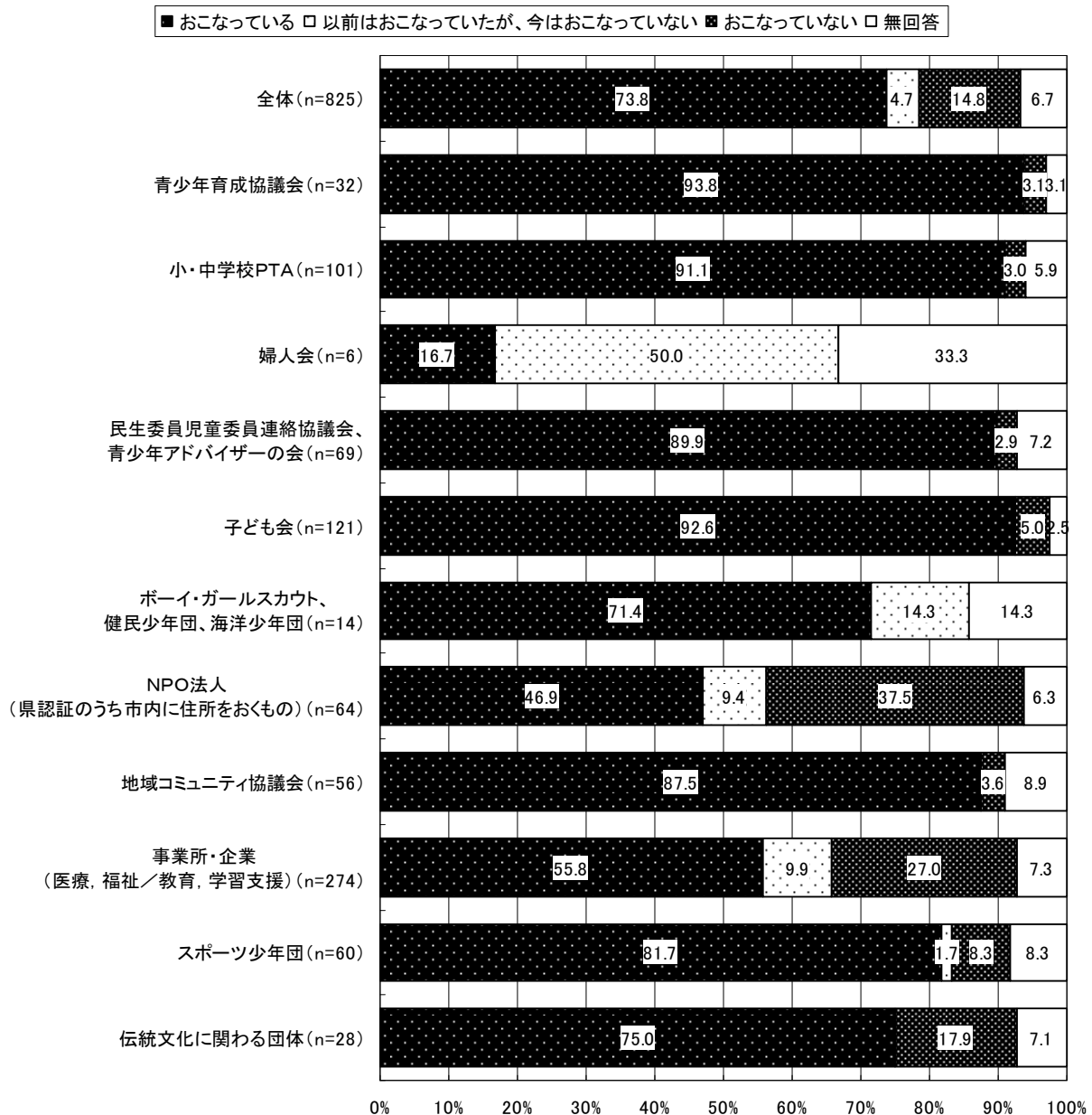
第1章活動の分野で、「子どもの健全育成を図る活動」(60.1%)が6割を超えていることとの関連がうかがえる。



活動の有無と調査団体区分との関連

活動を「おこなっている」団体の割合を調査団体区分別で見ると、「青少年育成協議会」(93.8%)が最も多い。次に「子ども会」(92.6%)、「小学校PTA、中学校PTA」(91.1%)、「民生委員児童委員連絡協議会、青少年アドバイザーの会」(89.9%)の順に続く。

一方、「おこなっていない」、「以前はおこなっていたが、今はおこなっていない」を合わせた調査団体区分では、「婦人会」(50.0%)が最も多い。次に「NPO法人」(46.9%)、「事業所・企業」(36.9%)、「伝統文化に関わる団体」(17.9%)の順に続く。

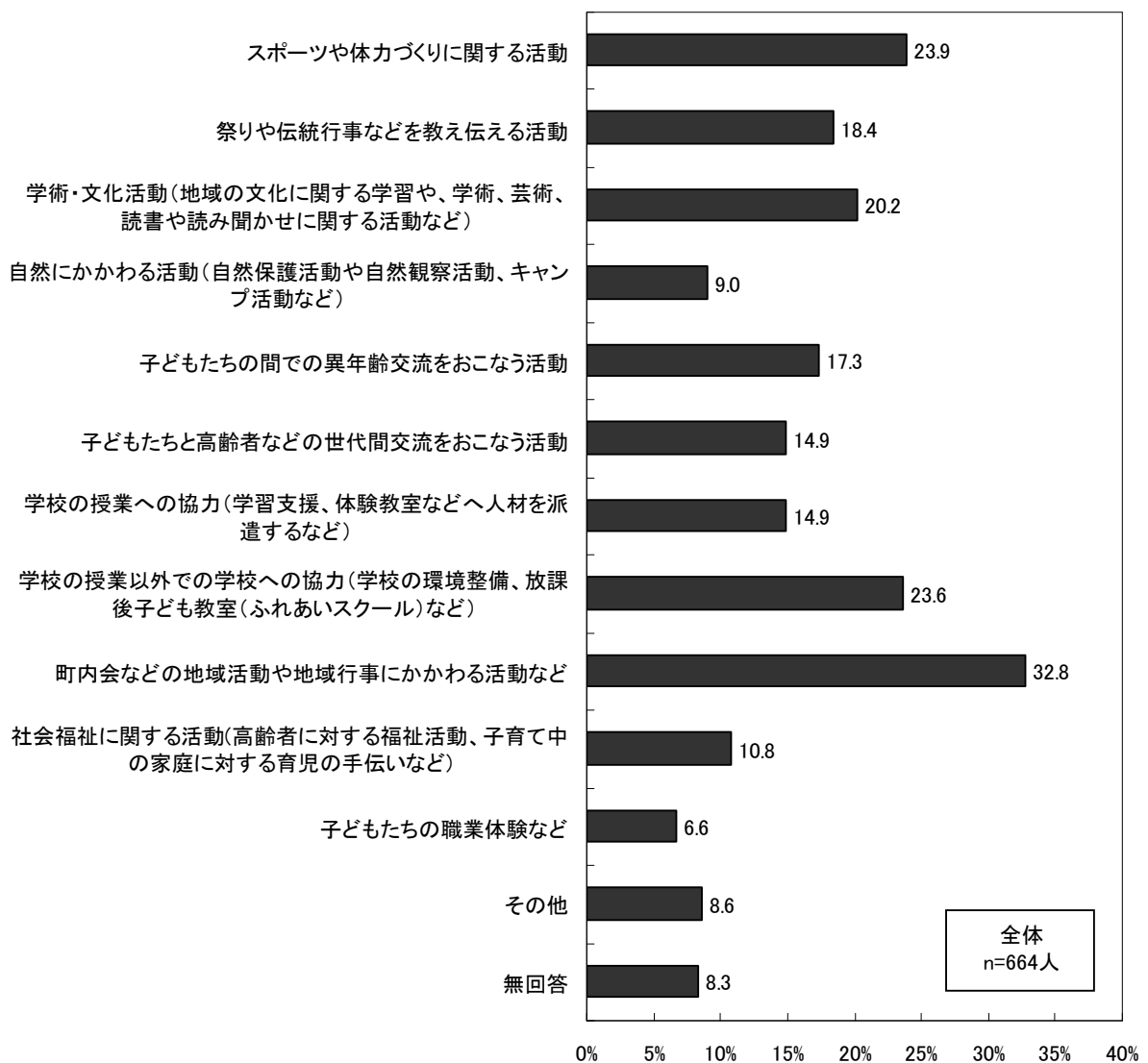


(2) 活動内容

<問1で「おこなっている」を選んだ団体のみ回答>

問2 子どもたちにかかわる活動とはどのような活動ですか。あてはまるものを3つまで
選び○をつけてください。(3A)

活動を「おこなっている」団体のその活動内容をみると、「町内会などの地域活動や地域行事にかかわる活動など」(32.8%)が最も多い。次に「スポーツや体力づくりに関する活動」(23.9%)、「学校の授業以外での学校への協力(学校の環境整備、放課後子ども教室(ふれあいスクール)など)」(23.6%)、「学術・文化活動(地域の文化に関する学習や、学術、芸術、読書や読み聞かせに関する活動など)」(20.2%)の順に続く。



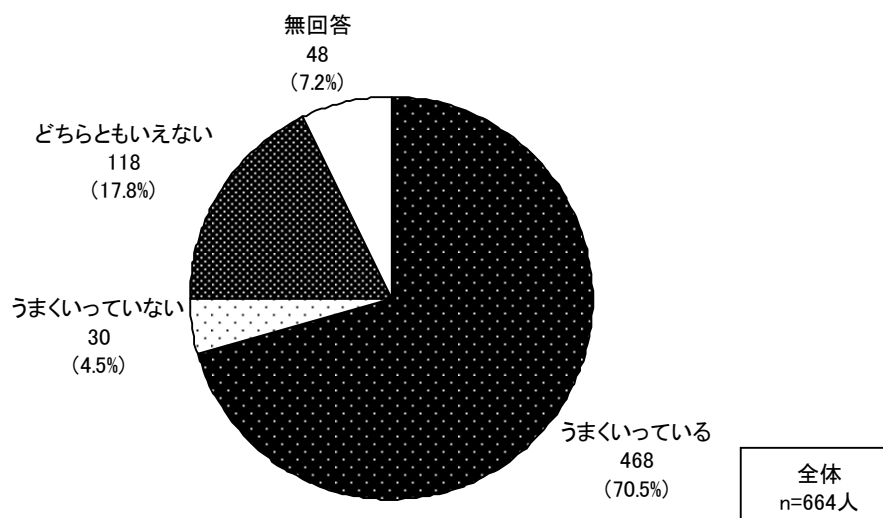
(3) 活動状況

<問1で「おこなっている」を選んだ団体のみ回答>

問3 現在、地域において、あなたの団体でおこなっている子どもたちとかかわる活動はうまくいっていますか。あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。(SA)

活動を「おこなっている」団体のその活動状況を見ると、「うまくいっている」(70.5%)が7割を超えている。

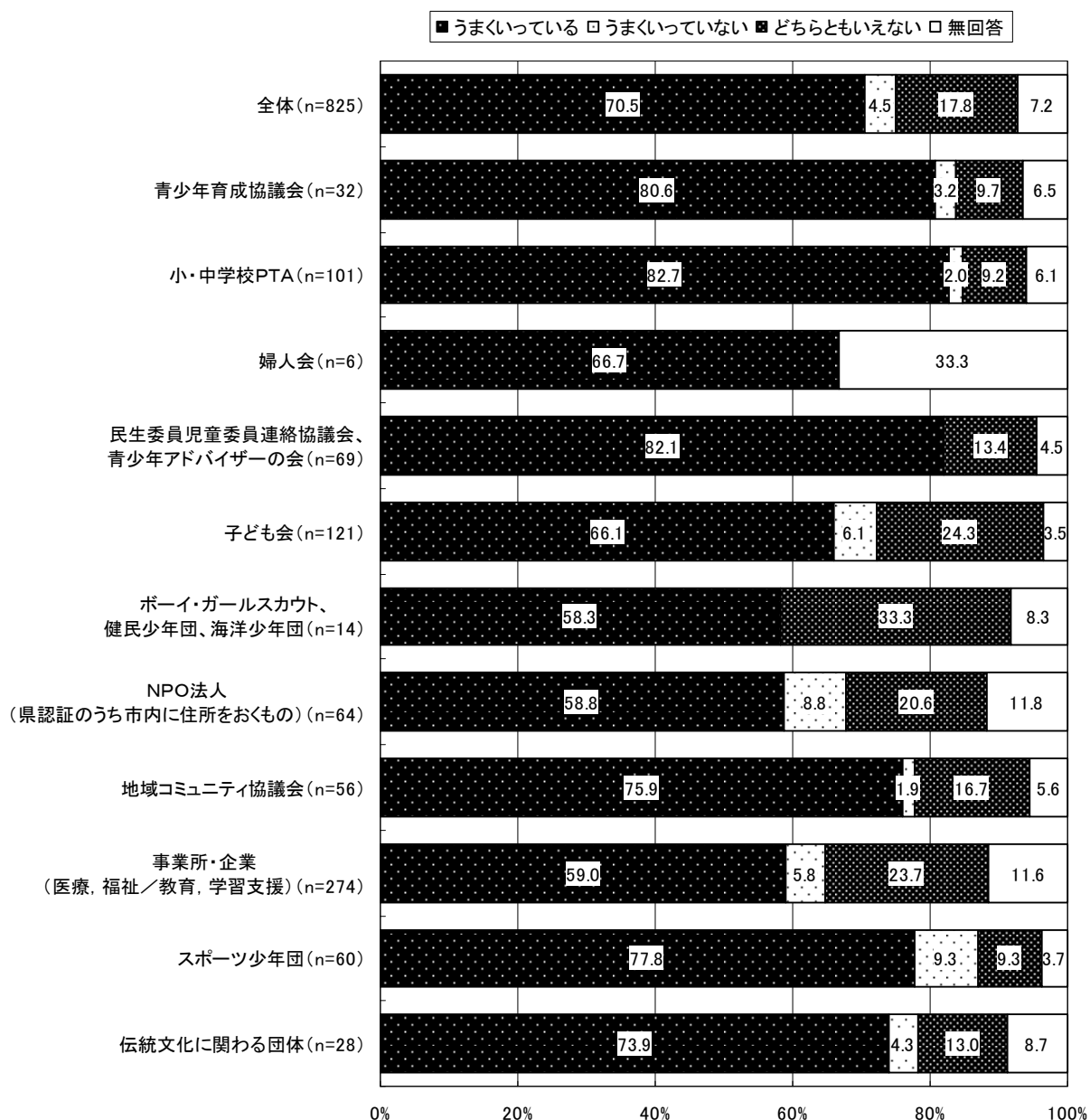
一方、「うまくいっていない」(4.5%)は5%以下である。



活動状況と調査団体区分との関連

活動を「おこなっている」、そして、「うまくいっている」団体の割合を調査団体区分別でみると、「小学校PTA、中学校PTA」(82.7%)が最も多い。次に「民生委員児童委員連絡協議会、青少年アドバイザーの会」(82.1%)、「青少年育成協議会」(80.6%)、「スポーツ少年団」(77.8%)の順に続き、最も少ない「ボーイスカウト、ガールスカウト、健民少年団、海洋少年団」(58.3%)でも6割近くがうまくいっていると回答している。

一方、「うまくいっていない」調査団体区分では、「スポーツ少年団」(9.3%)が最も多い。次に「NPO法人」(8.8%)、「子ども会」(6.1%)、「事業所・企業」(5.8%)の順に続いているが、いずれも1割以下である。



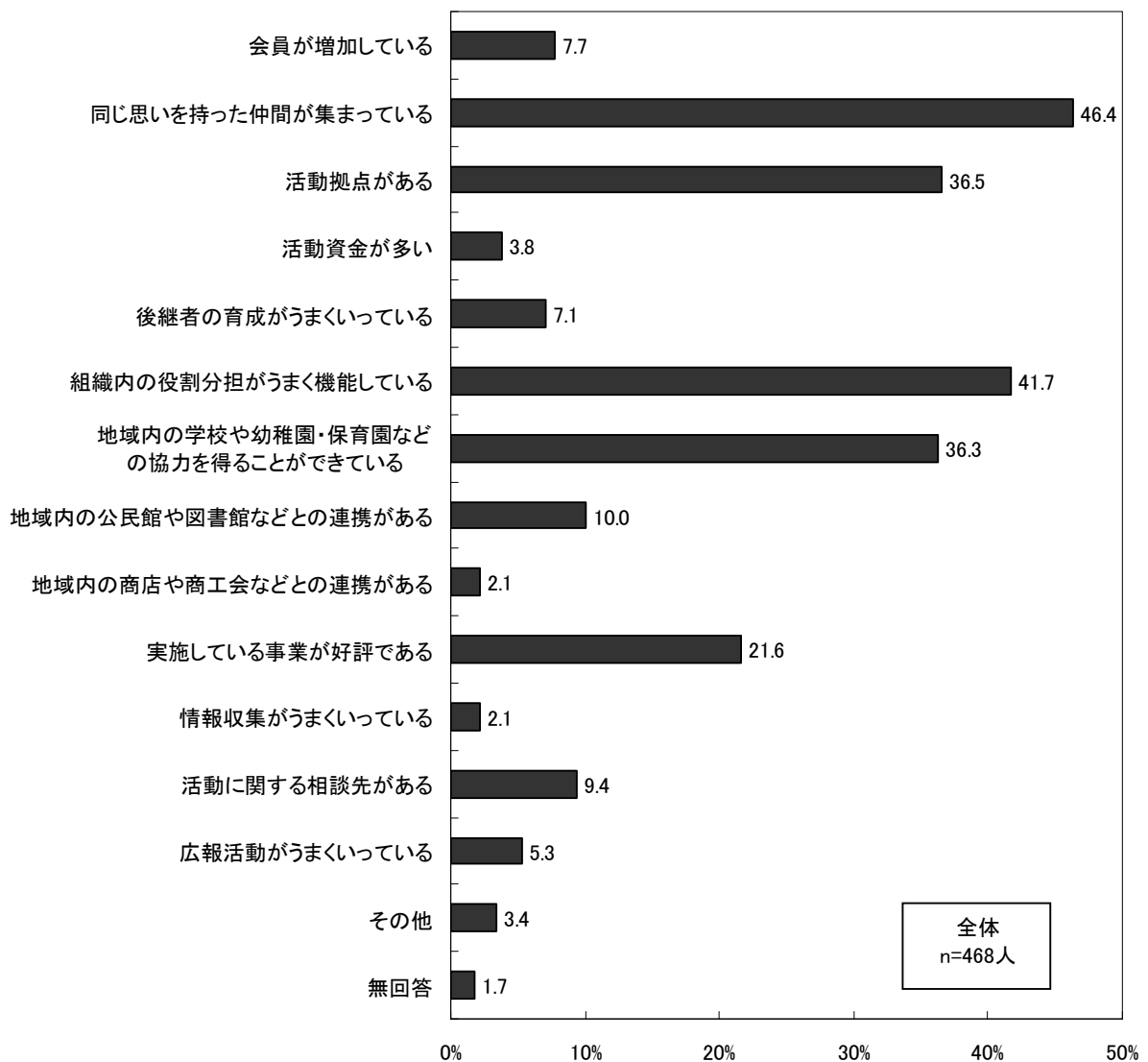
(4) 活動がうまくいっている要因

<問3で「うまくいっている」を選んだ団体のみ回答>

問4 「うまくいっている」団体のみお答えください。
「うまくいっている」要因についてあてはまるもの3つまで選び○をつけてください。(3A)

活動を「おこなっている」団体のその活動がうまくいっている要因をみると、「同じ思いを持った仲間が集まっている」(46.4%)が最も多い。次に「組織内の役割分担がうまく機能している」(41.7%)、「活動拠点がある」(36.5%)、「地域内の学校や幼稚園・保育園などの協力を得ることができている」(36.3%)の順に続く。

「活動資金が多い」(3.8%)は4%以下である。



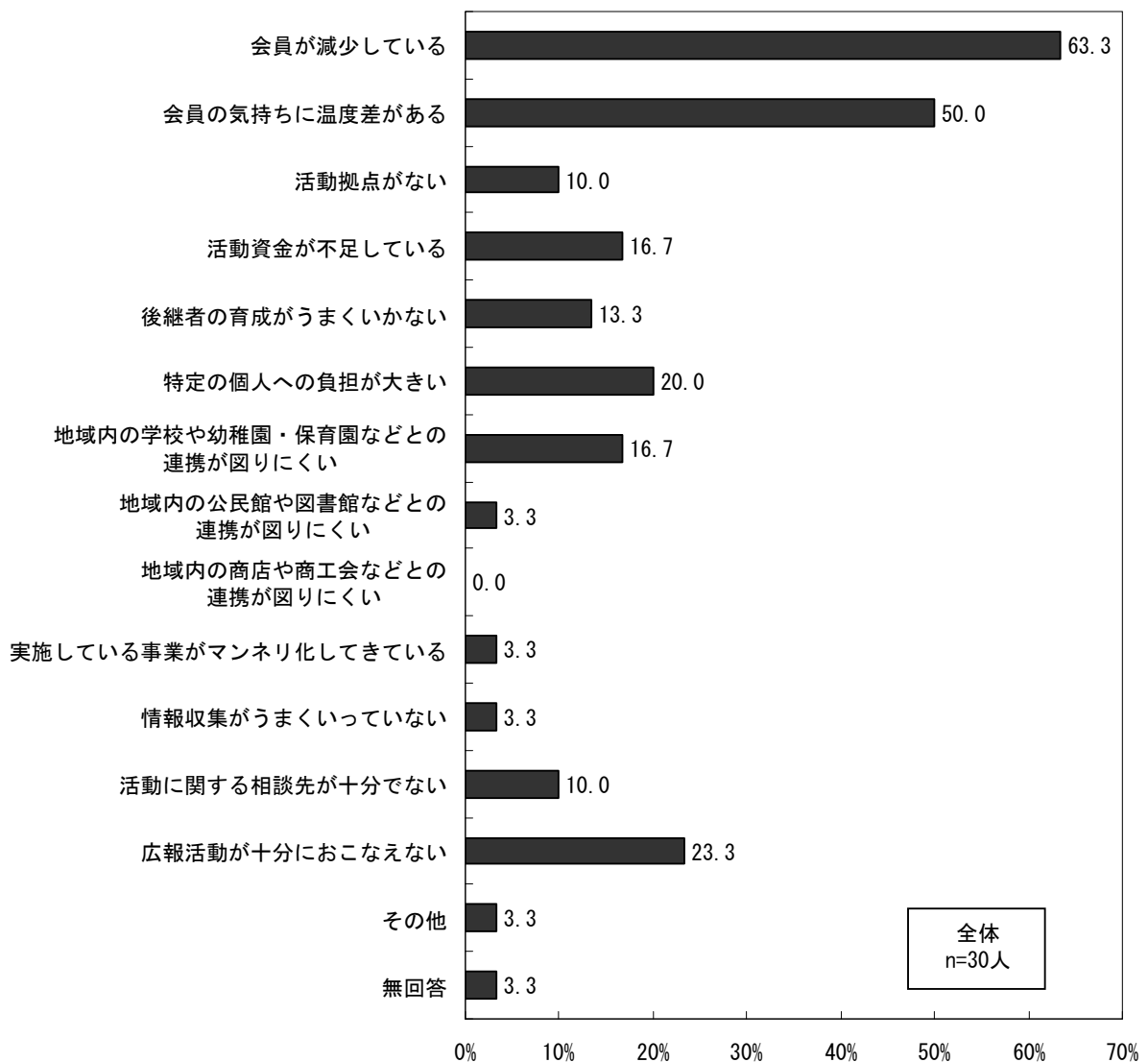
(5) 活動がうまくいっていない要因

<問3で「うまくいっていない」を選んだ団体のみ回答>

問5 「うまくいっていない」団体のみお答えください。
「うまくいっていない」要因についてあてはまるもの3つまで選び○をつけてください。(3A)

活動を「おこなっている」団体のその活動がうまくいっていない要因をみると、「会員が減少している」(63.3%)が最も多い。次に「会員の気持ちに温度差がある」(50.0%)、「広報活動が十分におこなえない」(23.3%)、「特定の個人への負担が大きい」(20.0%)の順に続く。

活動がうまくいかないのは、人的な要因が大きいことがうかがえる。



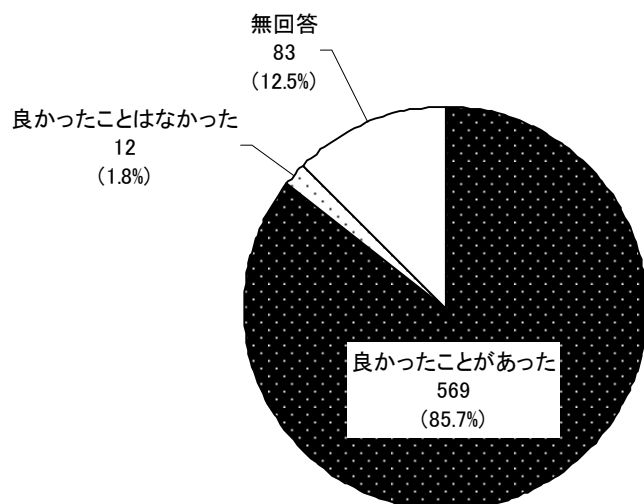
(6) 活動をおこなった感想

<問1で「おこなっている」を選んだ団体のみ回答>

問6 地域において子どもたちとかかわる活動をおこなって良かったことはありましたか。あてはまるものをいずれか選び、その番号に○をつけてください。(SA)

活動を「おこなっている」団体のその活動を実施した感想をみると、「良かったことがあった」(85.7%)が8割を超えている。

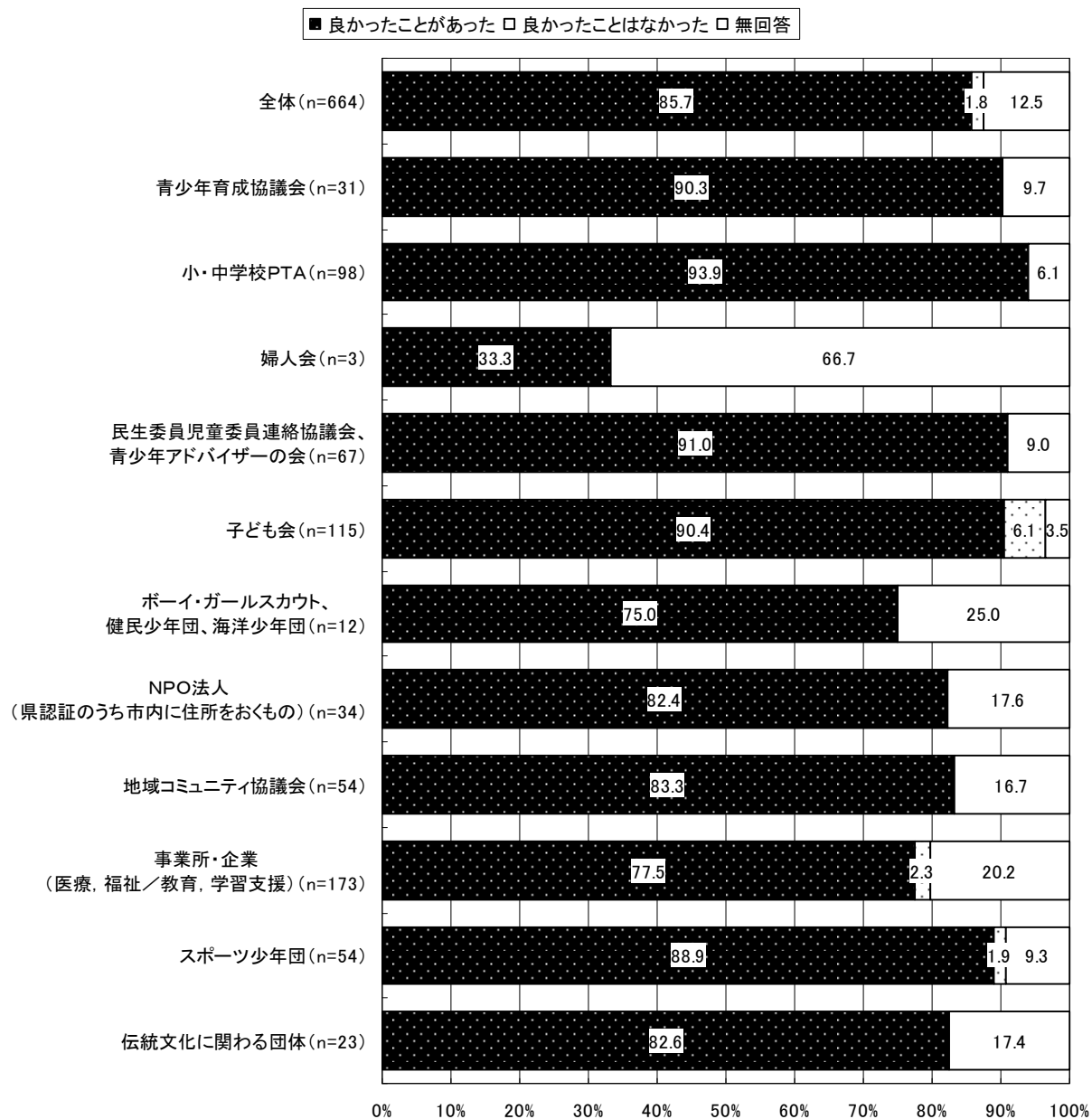
一方、「良かったことはなかった」(1.8%)は2%以下である。



活動をおこなった感想と調査団体区分との関連

活動を「おこなっている」、そして、「良かったことがあった」団体の割合を調査団体区分別でみると、「小学校PTA、中学校PTA」(93.9%)が最も多い。次に「民生委員児童委員連絡協議会、青少年アドバイザーの会」(91.9%)、「子ども会」(90.4%)、「青少年育成協議会」(90.3%)の順に続く。

一方、「良かったことはなかった」調査団体区分は、「子ども会」(6.1%)、「事業所・企業」(2.3%)、「スポーツ少年団」(1.9%)のみで、いずれも7%以下である。

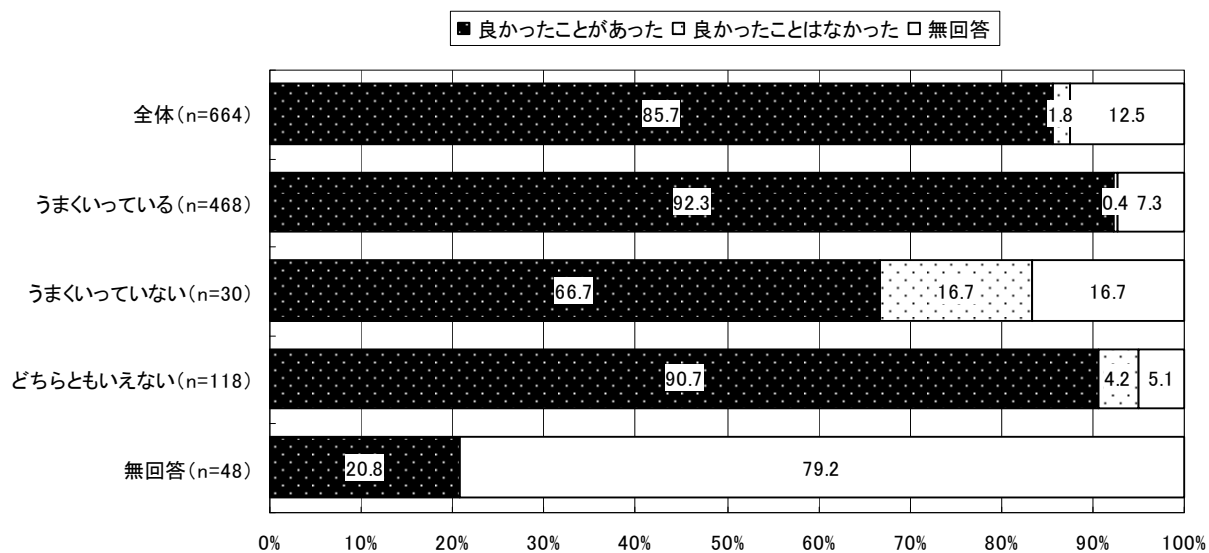


活動状況と活動をおこなった感想との関連

活動が「うまくいっている」団体で、「良かったことがあった」団体は9割を超えている。

「うまくいっていない」団体でも、「良かったことがあった」団体は7割近くを占めている。

子どもたちにかかわる活動を実施して、良かったと感じている団体が多いことが分かる。



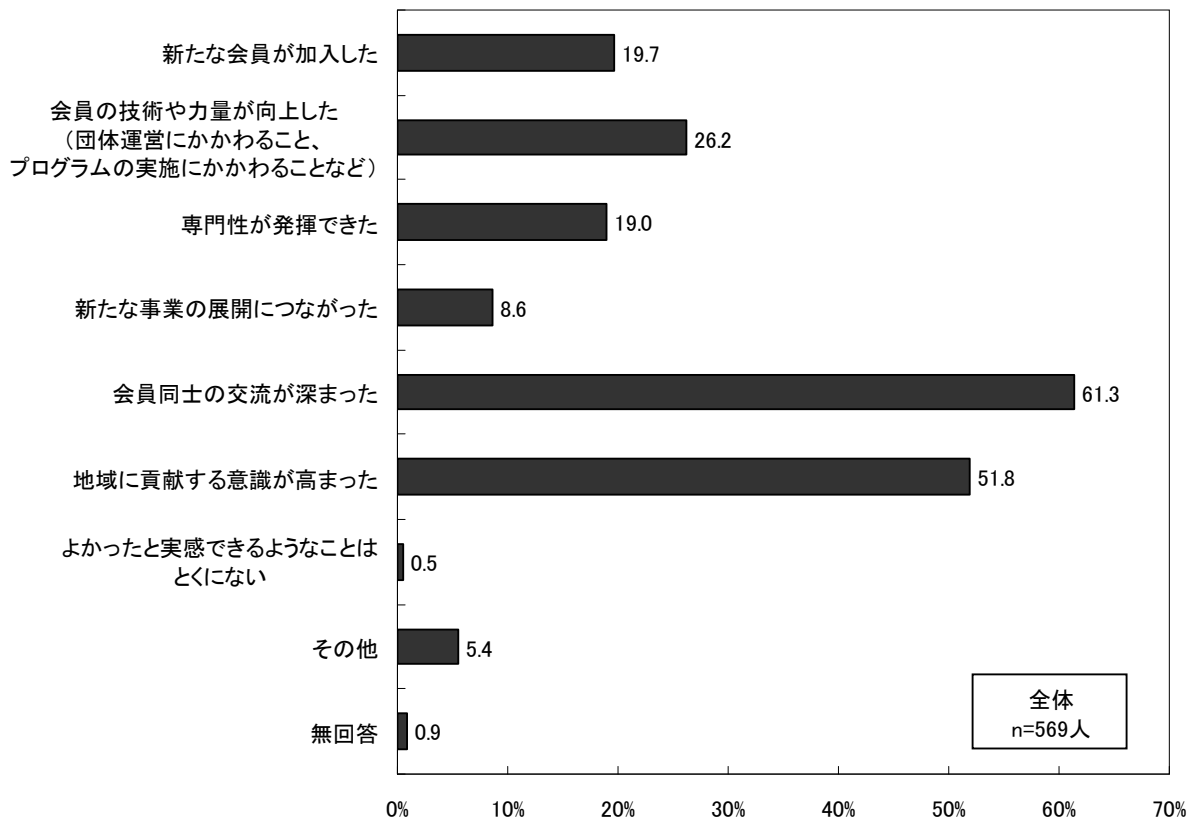
(7) 活動をおこなって良かったこと

<問6で「良かったことがあった」を選んだ団体のみ回答>

問7 良かったことがあったと思われることはどのようなことですか。
あなたの団体にとって、地域にとって、子どもたちにとって、それぞれ、あてはまる番号にすべて○をつけてください。(MA)

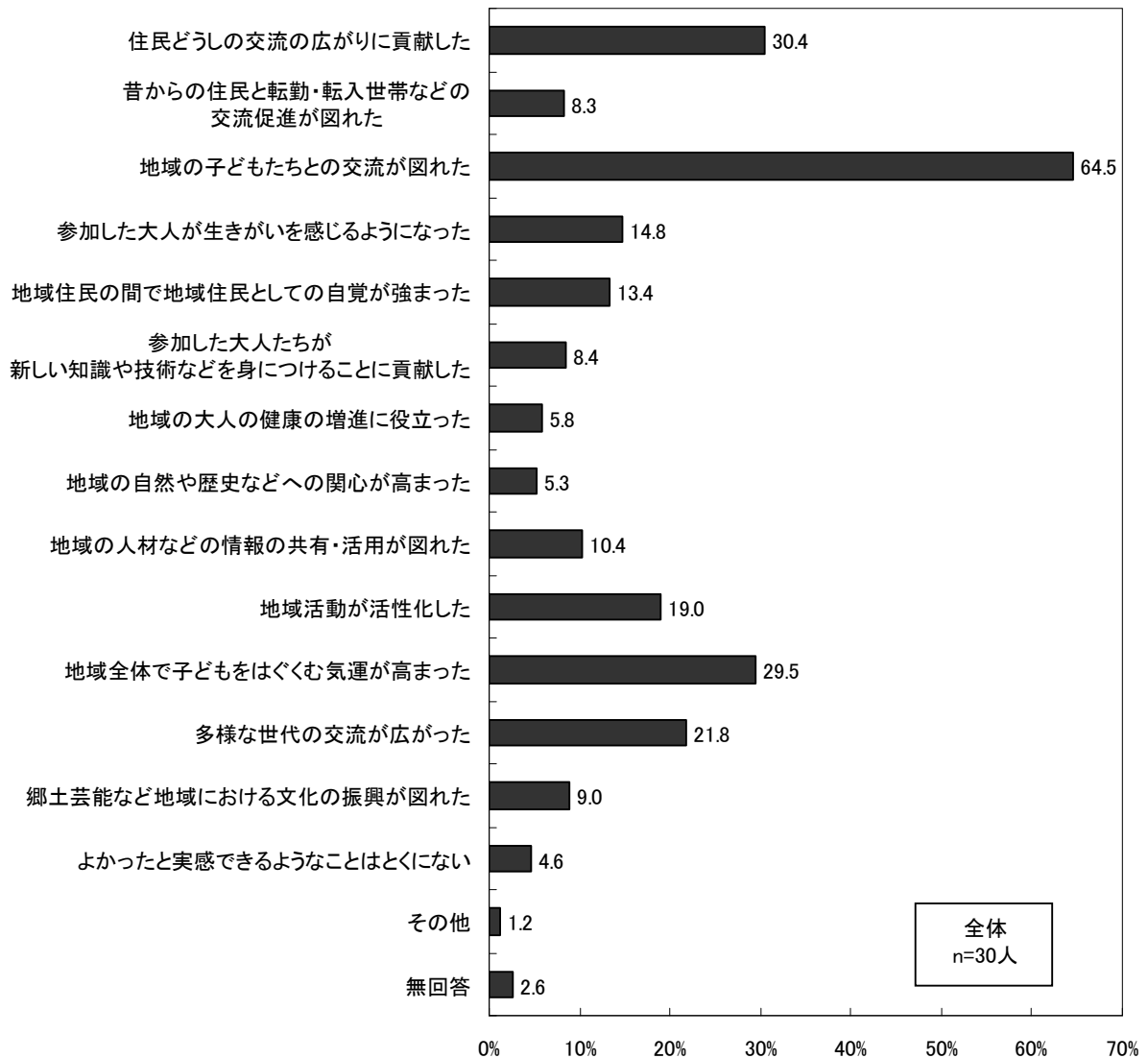
【あなたの団体にとって】

活動を「おこなっている」、そして「良かったことがあった」団体について、「団体にとって良かったこと」をみると、「会員同士の交流が深まった」(61.3%)が最も多い。次に「地域に貢献する意識が高まった」(51.8%)、「会員の技術や力量が向上した(団体運営にかかわること、プログラムの実施にかかわることなど)」(26.2%)、「新たな会員が加入した」(19.7%)の順に続く。



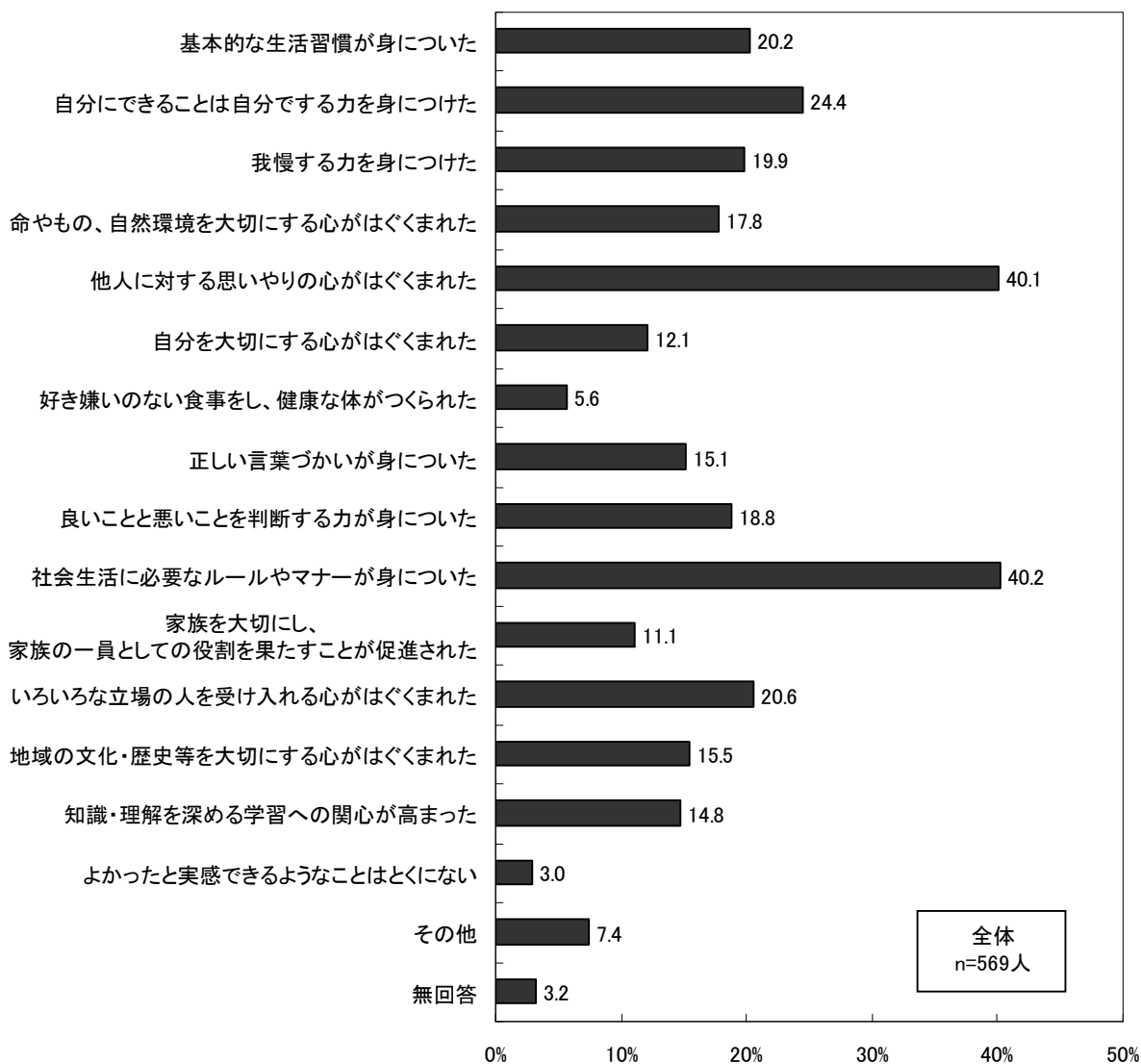
【地域にとって】

活動を「おこなっている」、そして「良かったことがあった」団体について、「地域にとって良かったこと」をみると、「地域の子どもたちとの交流が図れた」(64.5%)が最も多く6割を超えている。次に「住民どうしの交流の広がり貢献した」(30.4%)、「地域全体で子どもをはぐくむ気運が高まった」(29.5%)、「多様な世代の交流が広がった」(21.8%)の順に続く。



【子どもたちにとって】

活動を「おこなっている」、そして、「良かったことがあった」団体について、「子どもたちにとって良かったこと」をみると、「社会生活に必要なルールやマナーが身についた」(40.2%)が最も多い。次に「他人に対する思いやりの心がはぐくまれた」(40.1%)、「自分にできることは自分でする力を身につけた」(24.4%)、「いろいろな立場の人を受け入れる心がはぐくまれた」(20.6%)の順に続く。



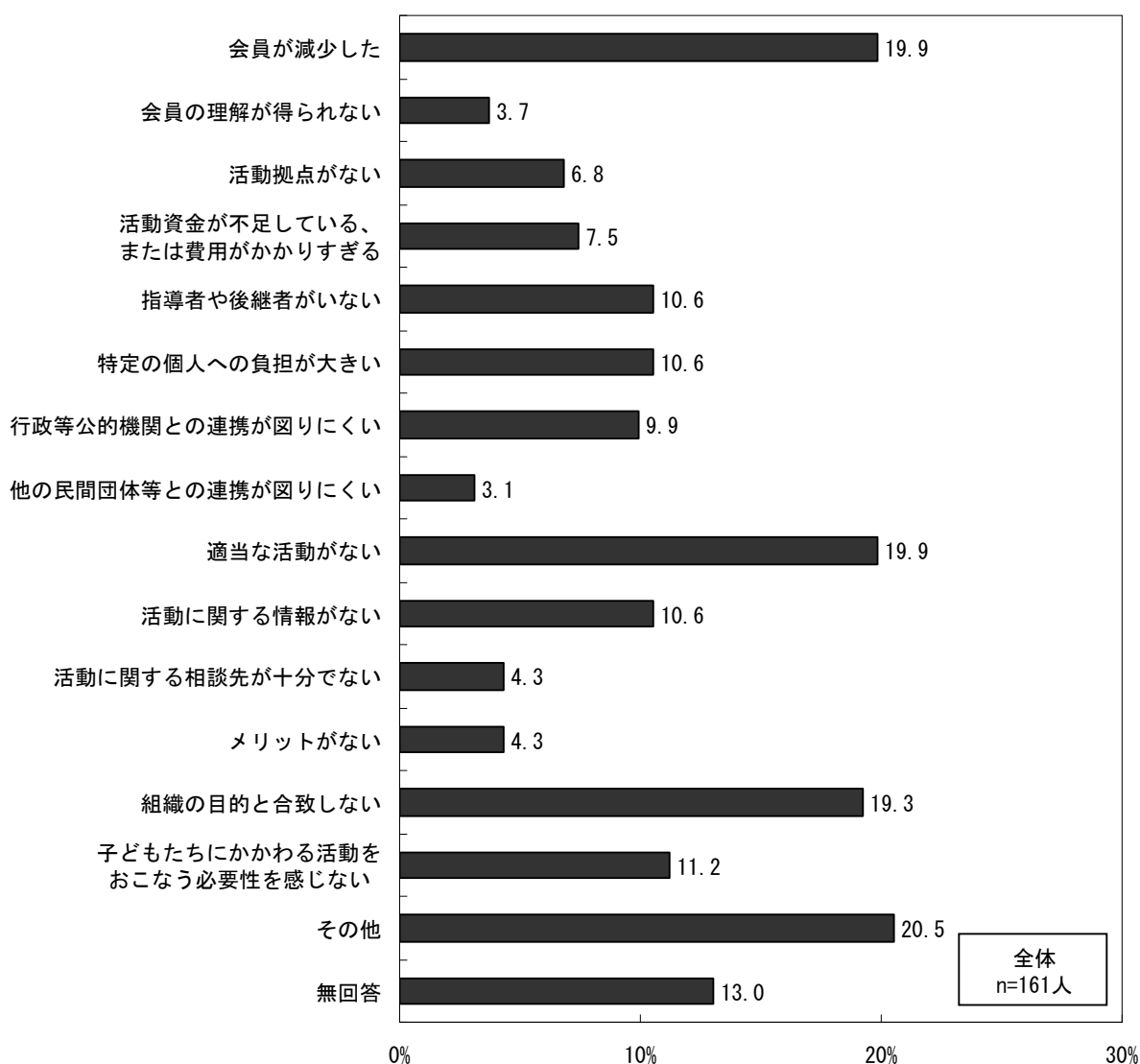
(8) 活動をおこなっていない理由

<問1で「以前はおこなっていたが、今はおこなっていない」、「おこなっていない」を選んだ団体のみ回答>

問8 問1で「2. 以前はおこなっていたが、今はおこなっていない」「3. おこなっていない」を選んだ団体のみお答えください。

地域において、あなたの団体が子どもたちとかかわる活動をおこなっていない理由として、あてはまるもの3つまで選び○をつけてください。(3A)

子どもたちにかかわる活動を「現在おこなっていない」団体の理由をみると、「その他」(20.5%)を除くと、「会員が減少した」(19.9%)、「適当な活動がない」(19.9%)が同ポイントで最も多い。次に「組織の目的と合致しない」(19.3%)、「子どもたちにかかわる活動をおこなう必要性を感じない」(11.2%)の順に続く。



「2. 地域で団体が子どもたちにかかわる活動の様子について」の総括

この章のアンケート結果からはっきり見えることは、多くの団体は子どもたちにかかわる活動に対し積極的に展開していることである。そしてその活動を進めることで団体内部の人間関係がうまくいき、団体の活動自体が進化している点である。子どもたちとかかわる活動は、たんに子どもたちの成長に寄与するだけではなく、活動団体内の会員同士の人間的つながりを強くしていくこと、またその活動団体が基本的な活動拠点を維持することができることを意味しているのである。その意味では社会活動がうまくいっている団体と子どもたちとかかわっている団体とでは対応関係を見て取ることができる。以下具体的に見てみよう。

団体の活動で子どもたちにかかわる活動を行っている団体は全体の73.8%であり、このうちでもっとも高い団体の割合は青少年育成協議会、子ども会、小・中学校PTAと続く。これら団体は活動の主目的が子どもたちに関する事なので当然であるといえる。しかし、地域コミュニティ協議会87.5%、伝統文化に関わる団体75.0%と直接子どもたちとかかわる目的を持っていない団体も子どもたちとのかかわりを持っているということが見える。

また活動内容は、町内会などの地域活動や地域行事にかかわる活動(32.8%)、スポーツや体力づくりに関する活動(23.9%)という内容が高い。また学校以外での学校への協力(23.6%)、学術・文化活動(20.2%)なども高い。このような内容で子どもたちにかかわる団体活動がうまくいっているのかを聞いたところ、「うまくいっている」との回答が、70.5%であった。これを団体別にみるとほぼ活動を展開している団体と傾向が一致している。うまくいっている団体にその要因を尋ねたところ、「同じ思いを持った仲間が集まっている」(46.4%)が高く、「組織内の役割分担がうまく機能している」(41.7%)、「活動拠点がある」(36.5%)、「地域内の学校や幼稚園・保育園などの協力を得ることができている」(36.3%)と続く。活動仲間の連携が取れ、活動拠点があるとその団体はうまく機能していることがわかる。そして子どもたちにかかわる活動は、学校や幼稚園・保育園と連携しやすいために活動がより進めやすくなるといえる。

ただし、気になることは活動拠点が公民館・図書館である団体が少ない点である。それは「地域内の公民館や図書館などと連携がある」(10.0%)、「地域内の商店や商工会などと連携がある」(2.1%)と回答した団体が少ないことから明瞭である。社会全体で「子育て」やその支援を考えると、このような社会教育施設や地域関係機関との連携は子どもたちの社会的成長を勘案すれば、極めて重要である。また社会教育は「地域で始まり地域で終わる」と指摘されているように、地域との結びつきがポイントであり、同時に社会教育は地域の豊かな発展を展望する事業であることを踏まえると、地域の将来を担う子どもたちといかにつながっていくかがキーとなると考える。以上のように考えると、今後これら団体が子どもたちの活動といかにかわるかは重要な課題であろう。

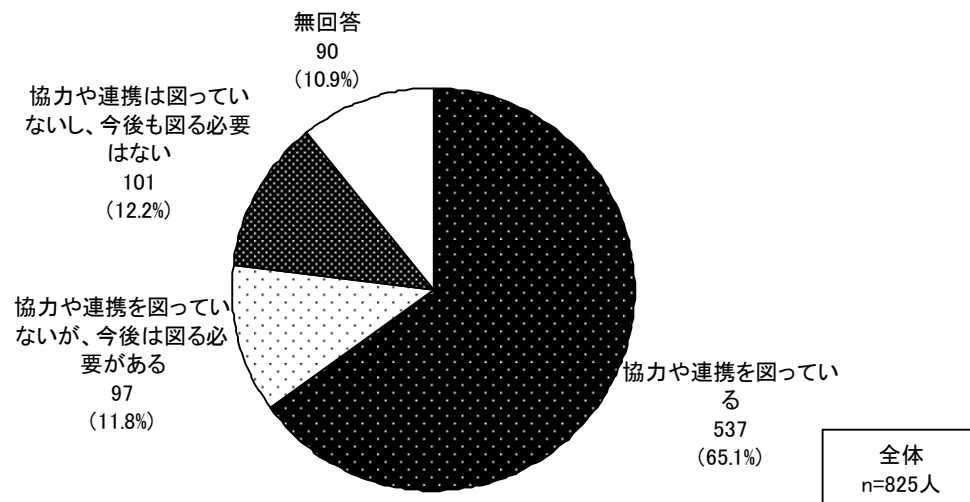
3. 他の団体や機関などとの協力や連携の状況について

(1) 協力や連携の有無

問9 現在、あなたの団体は、地域において活動をおこなうにあたり、他の団体や機関などとの協力や連携を図っていますか。あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。(5A)

協力や連携の有無をみると、「協力や連携を図っている」(65.1%)が6割を超えている。

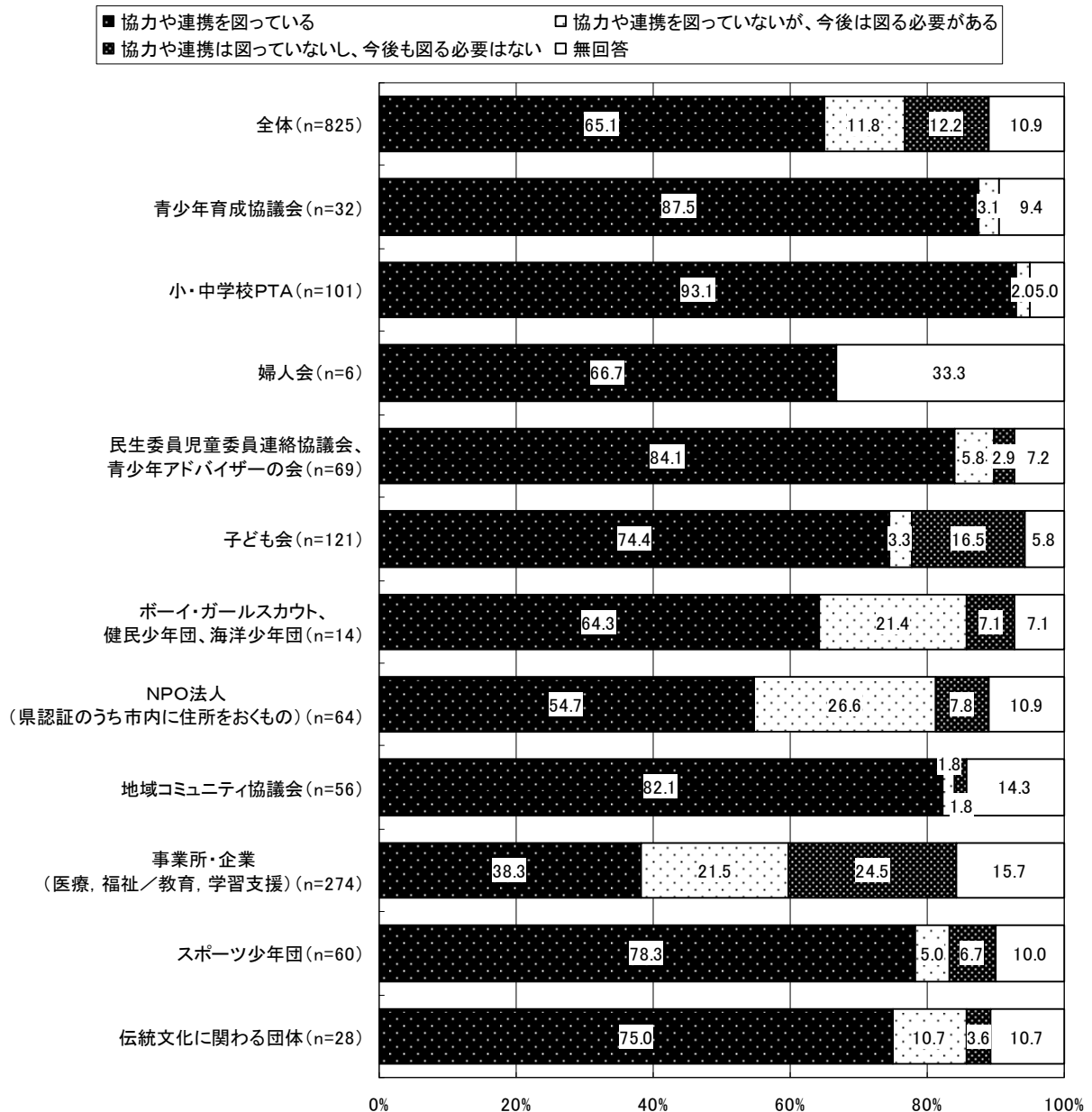
「協力や連携を図っていないが、今後は図る必要がある」(11.8%)を合わせると、4分の3以上を占めている。



協力や連携の有無と調査団体区分との関連

「協力や連携を図っている」団体の割合を調査団体区分別でみると、「小学校PTA、中学校PTA」(93.1%)が最も多い。次に「青少年育成協議会」(87.5%)、「民生委員児童委員連絡協議会、青少年アドバイザーの会」(84.1%)、「地域コミュニティ協議会」(82.1%)の順に続く。

一方、「協力や連携を図っていないし、今後も図る必要はない」では、「事業所・企業」(24.5%)が最も多い。次に「子ども会」(16.5%)、「NPO法人」(7.8%)、「スポーツ少年団」(6.7%)の順に続く。



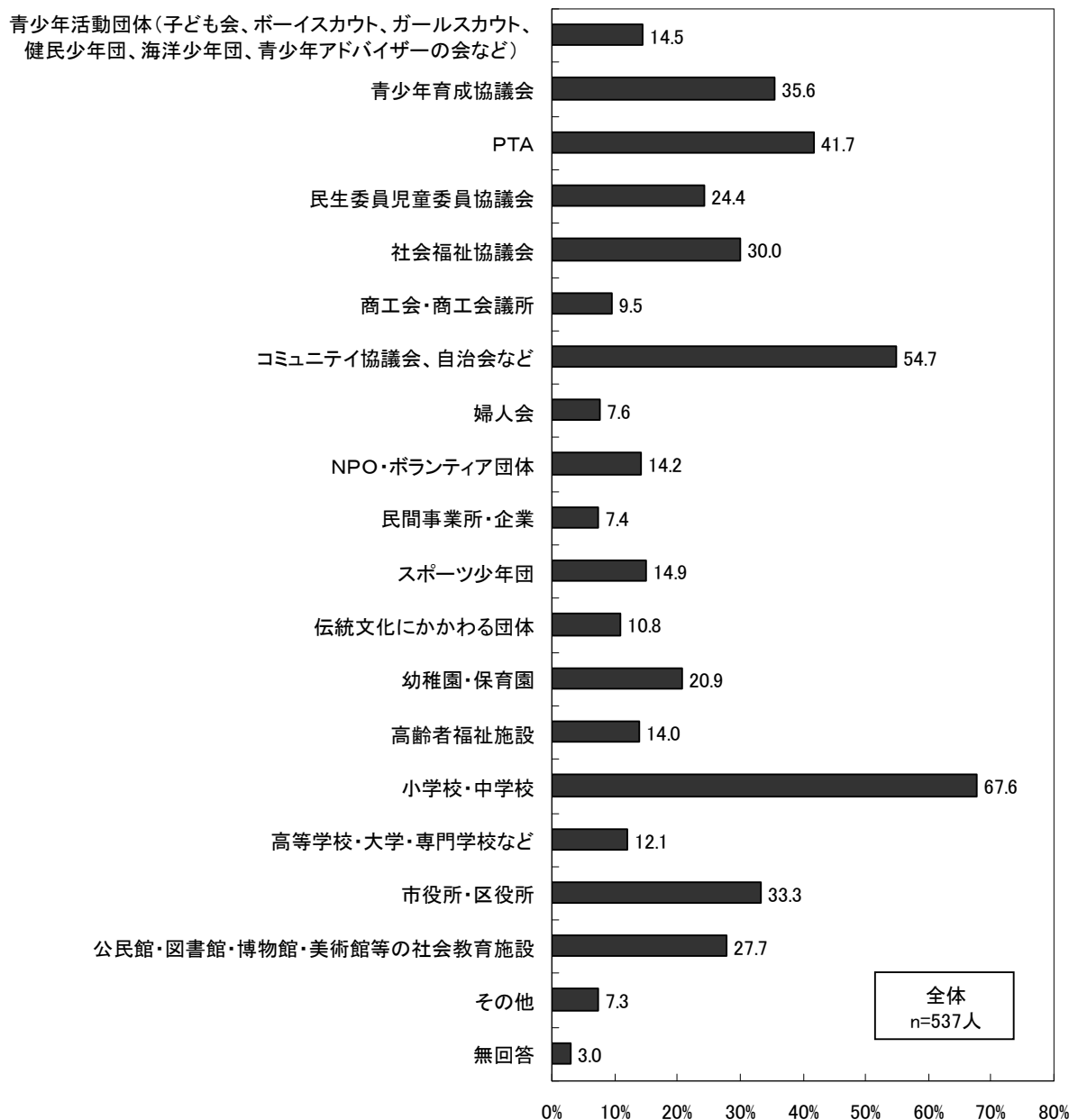
(2) 協力や連携の相手先

<問9で「協力や連携を図っている」を選んだ団体のみ回答>

問10 「1. 協力や連携を図っている」を選んだ団体のみお答えください。

- ① 現在、どのような団体や機関と協力や連携を図っていますか。
あてはまるものをすべて選び○をつけてください。(MA)

「協力や連携を図っている」団体のその他の相手先をみると、「小学校・中学校」(67.6%)が最も多い。次に「コミュニティ協議会、自治会など」(54.7%)、「PTA」(41.7%)、「青少年育成協議会」(35.6%)の順に続く。



(3) 今後望む協力や連携の相手先

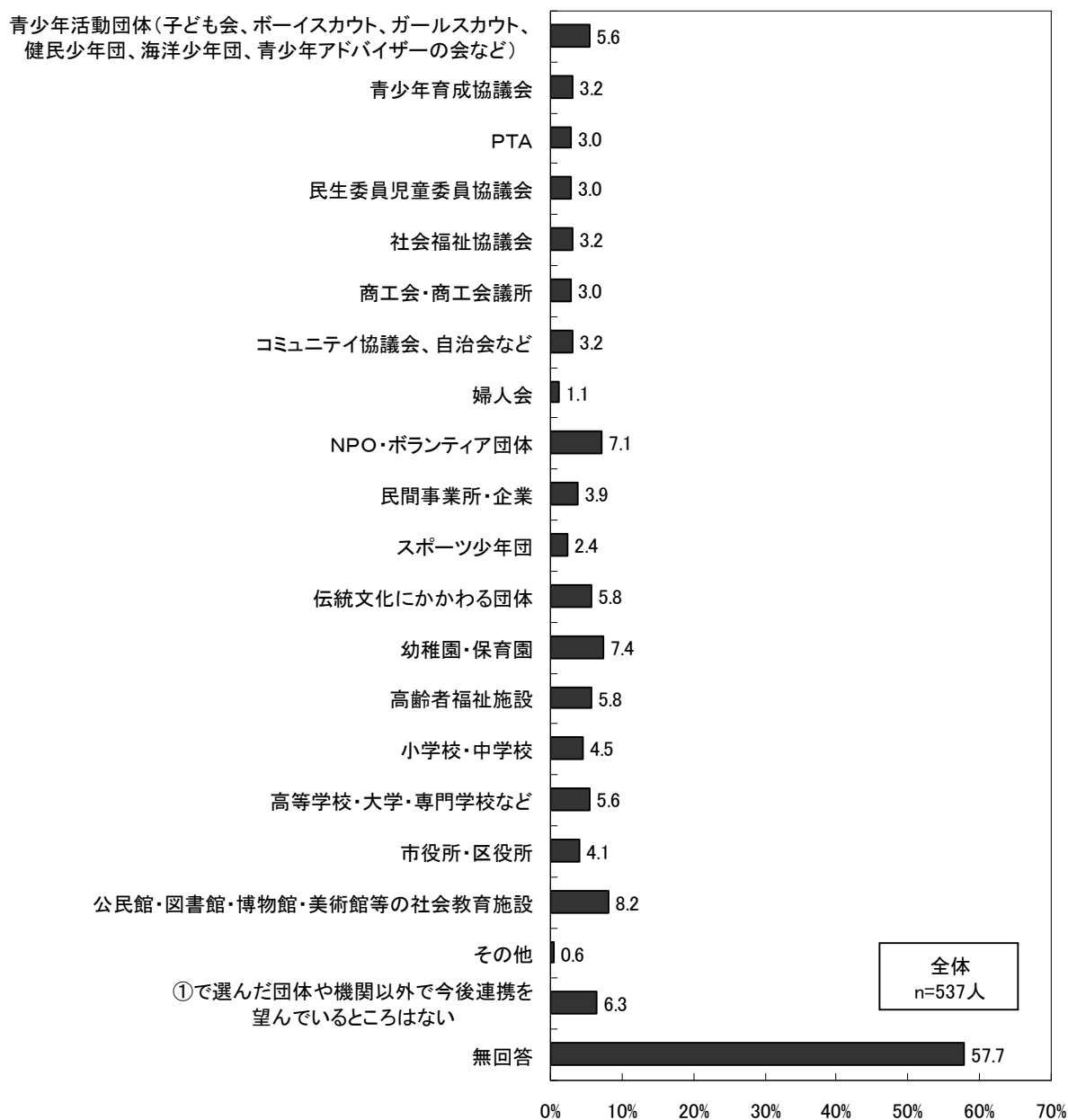
<問9で「協力や連携を図っている」を選んだ団体のみ回答>

問10 「1. 協力や連携を図っている」を選んだ団体のみお答えください。

② 今後、①で選んだ団体や機関以外でどのような団体や機関との連携を望みますか。

あてはまるものをすべて選び○をつけてください。(MA)

「協力や連携を図っている」団体について、現在のその相手先以外に今後望む相手先をみると、「公民館・図書館・博物館・美術館等の社会教育施設」(8.2%)が最も多い。次に「幼稚園・保育園」(7.4%)、「NPO・ボランティア団体」(7.1%)、「現在、協力や連携を図っている団体や機関以外で今後連携を望んでいるところはない」(6.3%)の順に続く。



(4) 「協力や連携を図っていないが、今後は図る必要がある」団体が望む協力や連携の相手先

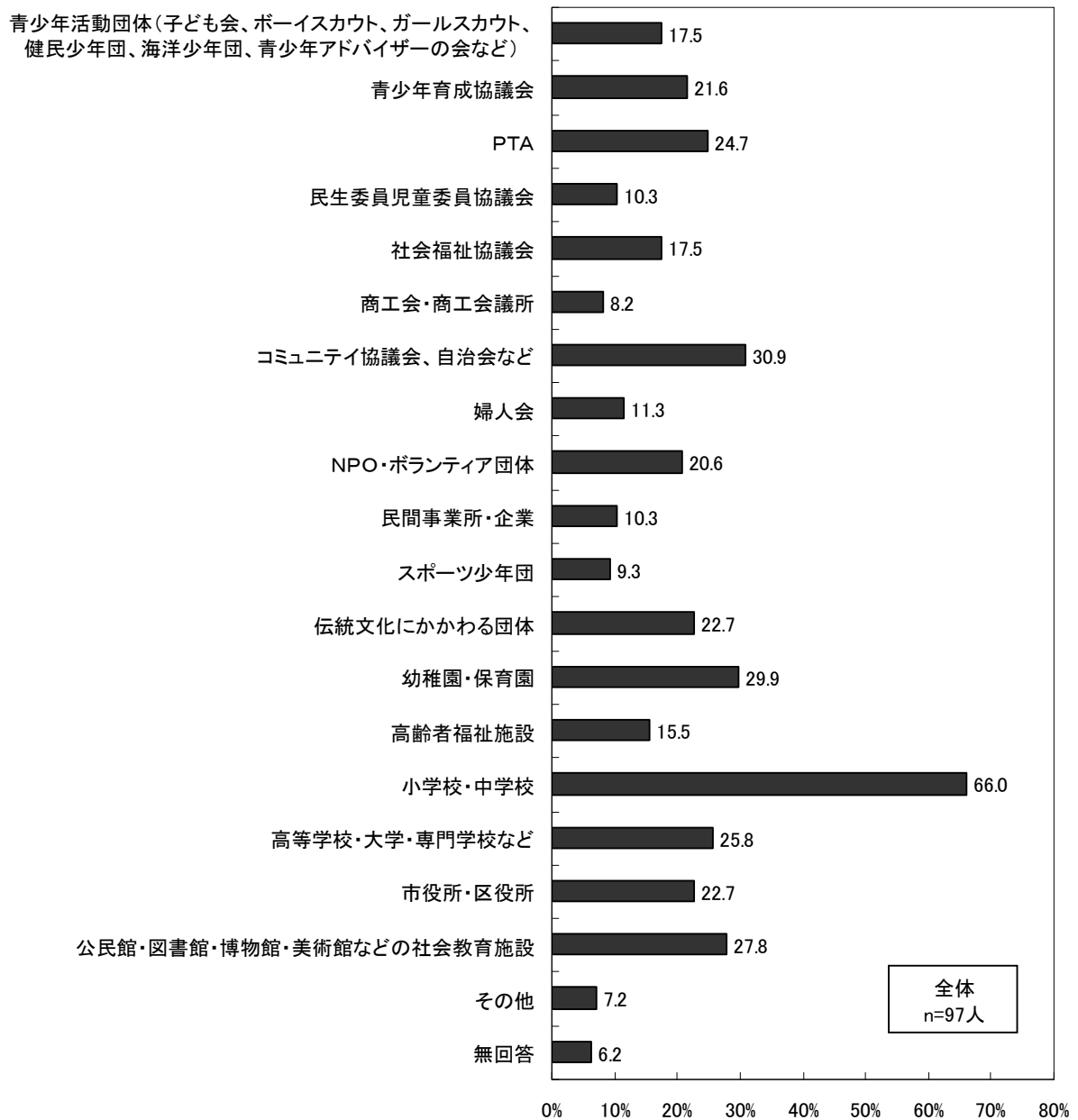
<問9で「協力や連携を図っていないが、今後は図る必要がある」を選んだ団体のみ回答>

問11 「2. 協力や連携を図っていないが、今後は図る必要がある」を選んだ団体のみお答えください。

どのような団体や機関との協力や連携を望みますか。

あてはまるものをすべて選び○をつけてください。(MA)

「協力や連携を図っていないが、今後は図る必要がある」団体について、今後望むその相手先をみると、「小学校・中学校」(66.6%)が最も多く7割近くを占めている。次に「コミュニティ協議会」(30.9%)、「幼稚園・保育園」(29.9%)、「公民館・図書館・博物館・美術館などの社会教育施設」(27.8%)の順に続く。

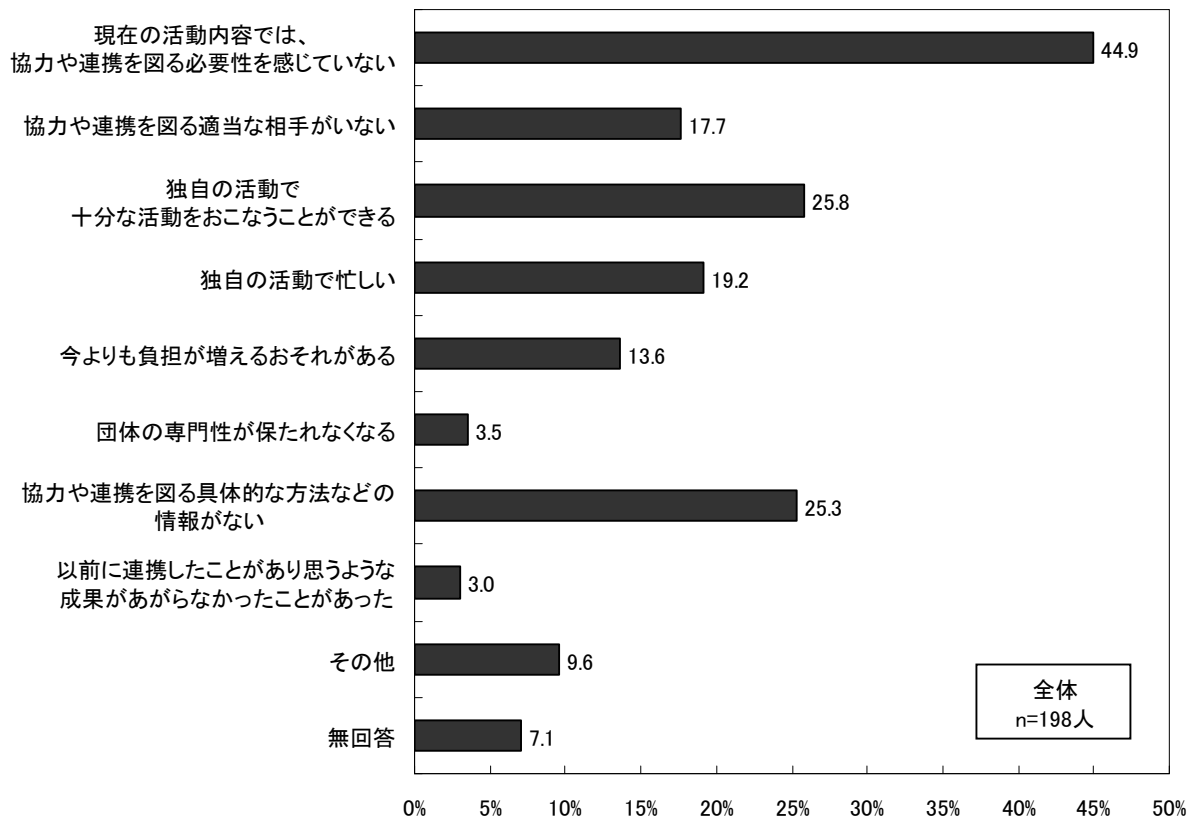


(5) 「協力や連携を図っていない」団体の理由

<問9で「協力や連携を図っていないが、今後は図る必要がある」、「協力や連携は図っていないし、今後も図る必要はない」を選んだ団体のみ回答>

問12 「2. 協力や連携を図っていないが、今後は図る必要がある」を選んだ団体の方と「3. 協力や連携は図っていないし、今後も図る必要はない」を選んだ団体のみお答えください。
他の団体や機関などとの協力や連携を図っていない理由についてあてはまるもの3つまで選び○をつけてください。(3A)

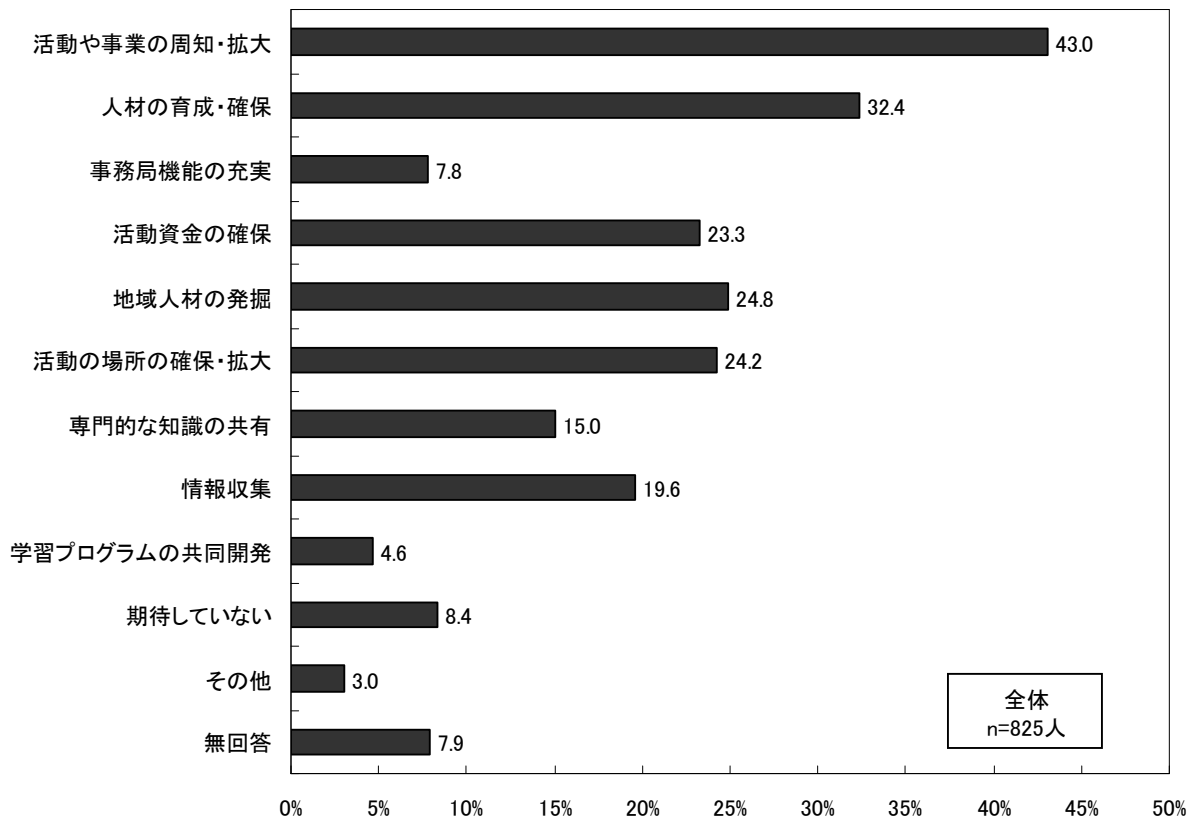
「協力や連携を図っていない」団体の理由をみると、「現在の活動内容では、協力や連携を図る必要性を感じていない」(44.9%)が最も多い。次に「独自の活動で十分な活動をおこなうことができる」(25.8%)、「協力や連携を図る具体的な方法などの情報がない」(25.3%)、「独自の活動で忙しい」(19.2%)の順に続く。



(6) 協力や連携に期待すること

問13 今後、あなたの団体が他の団体や機関などとの協力や連携に期待することについて、あてはまるもの3つまで選び○をつけてください。(3A)

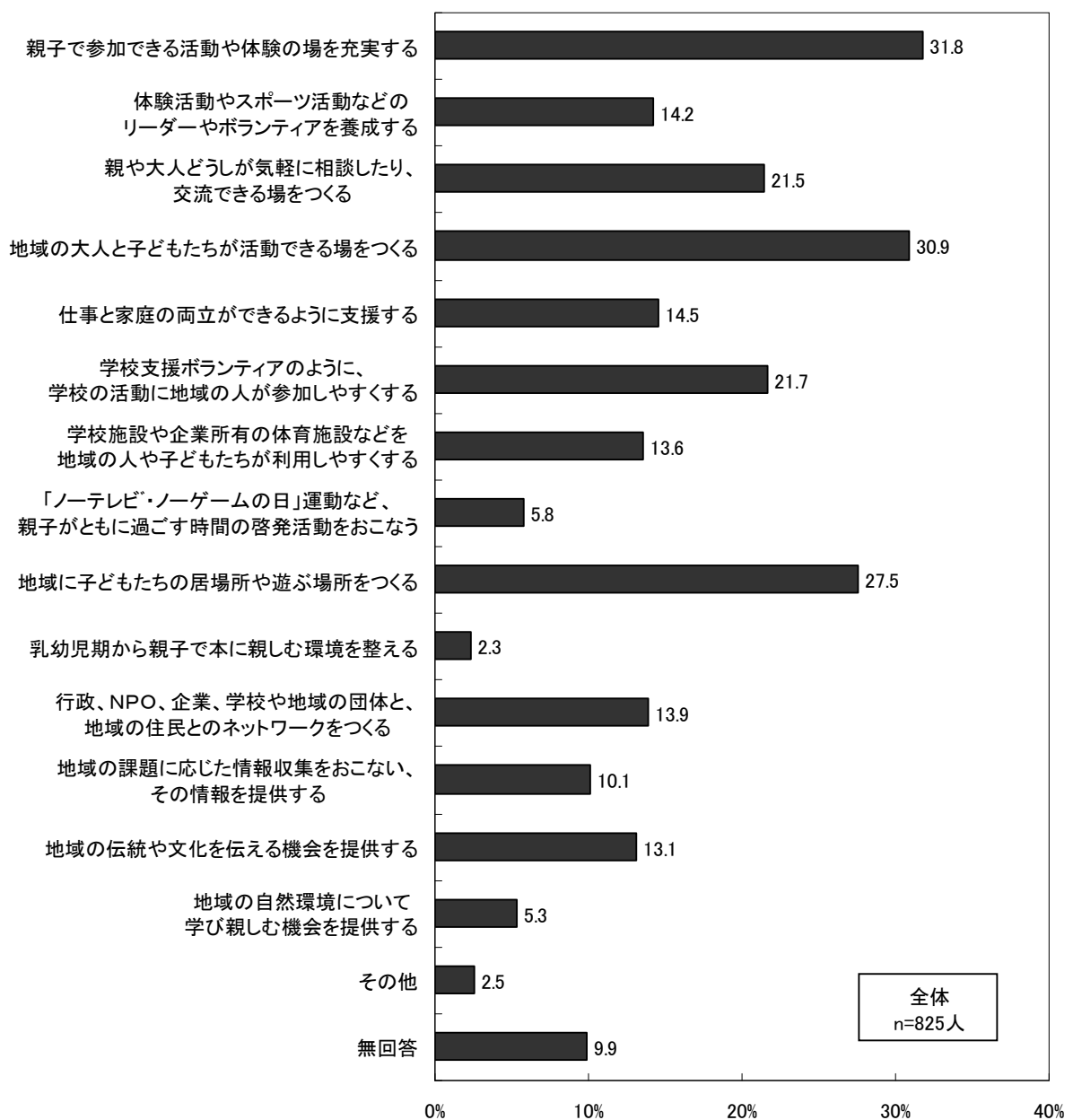
全ての団体について、協力や連携に期待することをみると、「活動や事業の周知・拡大」(43.0%)が最も多い。次に「人材の育成・確保」(32.4%)、「地域人材の発掘」(24.8%)、「活動の場所の確保・拡大」(24.2%)の順に続く。



(7) 地域全体で子どもたちをはぐくむために力を入れるべきこと

問14 地域全体で子どもたちをはぐくむためには、行政、NPO、企業、学校、地域の団体（地域コミュニティ協議会、子ども会、PTAや青少年団体など）はどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。
あてはまるもの3つまで選び○をつけてください。（3A）

地域全体で子どもたちをはぐくむために、各団体が力を入れるべきことをみると、「親子で参加できる活動や体験の場を充実する」（31.8%）が最も多い。次に「地域の大人と子どもたちが活動できる場をつくる」（30.9%）、「地域に子どもたちの居場所や遊ぶ場所をつくる」（27.5%）、「学校支援ボランティアのように、学校の活動に地域の人が参加しやすくする」（21.7%）の順に続く。



「地域全体で子どもたちをはぐくむために力を入れるべきこと」と団体調査区分との関連

「地域全体で子どもたちをはぐくむために、各団体が力を入れるべきこと」について、調査団体区分別に回答の傾向をみると、「親子で参加できる活動や体験の場を充実する」は、「青少年育成協議会」（50.0%）と「事業所・企業」（29.2%）で最も多い。「地域の大人と子どもたちが活動できる場をつくる」は、「地域コミュニティ協議会」（53.6%）で最も多い。「地域に子どもたちの居場所や遊ぶ場をつくる」は、「子ども会」（62.0%）と「民生委員児童委員連絡協議会、青少年アドバイザーの会」（36.2%）で最も多い。「学校支援ボランティアのように、学校の活動に地域の人が参加しやすくする」は、「小学校PTA、中学校PTA」（35.6%）、「民生委員児童委員連絡協議会、青少年アドバイザーの会」（86.2%）で最も多い。

		問14.地域全体で子どもたちをはぐくむために、行政、NPO、企業、学校、地域の団体が力を入れるべきと思うこと																
		親子で参加できる活動や体験の場を充実する	体験活動やスポーツ活動などのリーダーやボランティアを養成する	親や大人どうしが気軽に相談したり、交流できる場をつくる	地域の大人と子どもたちが活動できる場をつくる	仕事と家庭の両立ができるように支援する	学校支援ボランティアのように、学校の活動に地域の人が参加しやすくする	学校施設や企業所有の体育施設などを地域の人や子どもたちが利用しやすくする	がとにも過こす時間の啓発活動をおこなう	「ノーテレビ・ノーゲームの日」運動など、親子	地域に子どもたちの居場所や遊ぶ場所をつくる	乳幼児期から親子で本に親しむ環境を整える	行政、NPO、企業、学校や地域の団体と、地域の住民とのネットワークをつくる	地域の課題に応じた情報収集をおこない、その情報を提供する	地域の伝統や文化を伝える機会を提供する	地域の自然環境について学び親しむ機会を提供する	その他	無回答
全体	(n=825)	31.8	14.2	21.5	30.9	14.5	21.7	13.6	5.8	27.5	2.3	13.9	10.1	13.1	5.3	2.5	9.9	
調査団体区分	青少年育成協議会	(n=32)	50.0	21.9	21.9	46.9	9.4	34.4	6.3	6.3	28.1	0.0	12.5	15.6	3.1	6.3	0.0	6.3
	小・中学校PTA	(n=101)	34.7	12.9	34.7	35.6	22.8	35.6	11.9	10.9	16.8	0.0	12.9	8.9	6.9	2.0	4.0	5.0
	婦人会	(n=6)	16.7	16.7	16.7	50.0	0.0	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	33.3
	民生委員児童委員連絡協議会、青少年アドバイザーの会	(n=69)	30.4	14.5	33.3	31.9	11.6	36.2	10.1	7.2	36.2	4.3	17.4	29.0	4.3	5.8	1.4	4.3
	子ども会	(n=121)	42.1	14.9	23.1	36.4	21.5	12.4	14.9	2.5	62.0	2.5	0.8	1.7	5.8	4.1	0.8	1.7
	ボーイ・ガールスカウト、健民少年団、海洋少年団	(n=14)	35.7	42.9	7.1	28.6	14.3	14.3	35.7	0.0	28.6	0.0	14.3	7.1	0.0	14.3	0.0	7.1
	NPO法人(県認証のうち市内に住所をおくもの)	(n=64)	21.9	14.1	21.9	31.3	14.1	14.1	17.2	1.6	15.6	3.1	40.6	15.6	10.9	14.1	6.3	12.5
	地域コミュニティ協議会	(n=56)	35.7	19.6	23.2	53.6	3.6	23.2	10.7	1.8	25.0	0.0	19.6	19.6	19.6	10.7	0.0	7.1
	事業所・企業(医療、福祉/教育、学習支援)	(n=274)	29.2	8.8	13.9	20.8	14.2	20.4	10.2	8.0	18.6	3.6	12.8	7.7	19.3	4.4	3.3	16.4
	スポーツ少年団	(n=60)	28.3	25.0	21.7	23.3	11.7	13.3	35.0	3.3	20.0	0.0	11.7	3.3	3.3	0.0	1.7	10.0
伝統文化に関わる団体	(n=28)	7.1	10.7	14.3	35.7	3.6	10.7	7.1	3.6	28.6	3.6	14.3	3.6	57.1	3.6	3.6	14.3	

「3. 他の団体や機関などとの協力や連携の状況について」の総括

地域における様々な団体・機関の協力・連携状況を把握し、今後の方向性を見定めることは、地域の団体・機関のネットワーク化をうながし、地域の教育力向上に資するものである。第3の質問群（問9～問14）はこういったことを意図して設定されている。

問9にみるように、現在は「協力・連携を図っている」団体（以下「連携団体」と略記）が65.1%と多いが、「協力・連携を図っていないし今後も図る必要はない」団体（以下「非連携団体」と略記）が次に多く12.2%、「協力・連携を図っていないが今後は図る必要がある」団体（以下「未連携団体」と略記）11.8%、無回答10.9%となっている。

連携団体の協力・連携先団体（問10①）と未連携団体の協力・連携希望団体（問11）を比較すると、「小学校・中学校」（連携団体67.6%・未連携団体66.0%。以下同様）、「公民館・図書館・博物館・美術館等の社会教育施設」（27.7%・27.8%）は高い選択率でほぼ同じ選択率であるが、「コミュニティ協議会、自治会など」（54.7%・30.9%）、「PTA」（41.7%・24.7%）、「青少年育成協議会」（35.6%・21.6%）、「市役所・区役所」（33.3%・22.7%）、「社会福祉協議会」（30.0%・17.5%）、民生委員児童委員協議会（24.4%・10.3%）と、連携団体が結びついているほどには未連携団体は協力・連携を望んでいないことがわかる。

一方、「幼稚園・保育園」（20.9%・29.9%）、「高等学校・大学・専門学校など」（12.1%・25.8%）、「伝統文化に関わる団体」（10.8%・22.7%）、「NPO・ボランティア団体」（14.2%・20.6%）などにおいて未連携団体の希望が、連携団体の結びつきよりも高い。専門性の高い団体・機関との協力・連携が今後の方向性の一つと言えそうである。

しかし、協力・連携が進みそうであるかと言えば、一概にそうは言えない。連携団体の36.0%しか、これから協力・連携を拡大しようと思っていない（問10②で、無回答57.7%と「他に連携を望むところはない」6.3%を除いた割合）。問12の非連携団体が協力・連携を希望しない理由を見ると、3、5位が「情報が不十分」（25.3%）、「適当な相手がいない」（17.7%）であり、こういった団体に対しては、情報提供を行うことで協力・連携を進める可能性が見込まれる。しかし、1、2位の回答は「必要性がない」（44.9%）、「独自の活動で十分」（25.8%）であり、非連携団体の多数は連携団体に転化しにくい。

これらの原因としては、協力・連携のメリットが見えにくいからではないだろうか。問13では協力・連携に期待することを聞いている。「期待」であるので、最大選択できる3つまで回答してよさそうなどころではあるが、平均選択数は2.36個（「期待していない」と無回答を除く）、しかも最も高率の「活動や事業の周知・拡大」でさえ43.0%にとどまる。子どもの教育にかかわる団体・機関そのものの情報だけでなく、それら諸団体・機関間の協力・連携の効果を明らかにし、かつそれを周知していく施策が求められる。

「地域全体で子どもたちをはぐくむためにはどのようなことに力を入れたらよいか」（「その他」含む15選択肢より3つまで選択可）ということについては、「親子で参加できる活動や体験の場を充実する」（31.8%）、「地域の大人と子どもたちが活動できる場をつくる」（30.9%）、「地域に子どもたちの居場所や遊ぶ場所をつくる」（27.5%）といった回答が多い（問14）。

諸団体・機関の連携を深める方策としても、これらの施策を位置づけることが考えられる。

Ⅲ. 自由記述

本調査における自由記述は、回答者全体（825団体）の約3分の1である294団体からさまざまな意見が寄せられた。

内容については一部抜粋し、重複しているものをまとめるなどして、以下の項目に整理・分類した。

1. 子どもたちについて
 - (1) 子どもたちの居場所に関すること
 - (2) 子どもたちの体験（食育・伝統文化など）に関すること
 - (3) 子どもたちの自主性に関すること
2. 親（大人）について
 - (1) 親（大人）の教育力に関すること
 - (2) 親（大人）の時間・ゆとりに関すること
3. 地域について
 - (1) 地域の人たちの交流に関すること
 - (2) 地域活動への参加に関すること
 - (3) 地域への期待・要望
4. 団体について
 - (1) 団体の運営に関すること
 - (2) 団体の連携に関すること
5. 行政・学校・企業・地域の団体への要望
6. 地域全体で子どもたちをはぐくむ事例紹介

自由記述の各項目末尾に団体名を記したが、表記は以下のとおりとする。

青少年育成協議会	→	【育成協】
小学校PTA・中学校PTA	→	【PTA】
民生委員児童委員連絡協議会	→	【民生児童委員】
NPO法人	→	【NPO】
地域コミュニティ協議会	→	【コミ協】
スポーツ少年団	→	【スポ少】
伝統文化に関わる団体	→	【伝統文化】

なお、【事業所・企業】とは、教育・学習支援及び医療・福祉に関わる事業所・企業を抜粋したものである。

1. 子どもたちについて

(1) 子どもたちの居場所に関すること

- ・子どもが五感で会得できる自然環境をできるだけたくさん残してあげることが必要。
【NPO】
- ・子どもたちが安心して遊べる、地域の公園があれば、子どもたちも集まりやすく、大人の目が届き、地域で子どもたちをはぐくむことにつながるのではないかと。
【育成協】【子ども会】
- ・空地が減り、子どもが気軽に遊べる場所が減り、車の通りが少ない住宅地の道路で遊ぶ子が目立つ。しかし、安全の面から、好ましいことではない。歩行者天国のように、子どもが自由に遊べるスペースを住宅地内に設けるなど、小さな子どもでも安心して遊べる場所があったらいい。
【PTA】【子ども会】【事業所・企業】
- ・遊ぶ場所、自転車乗りの練習場所、あそこへ行けば友達に会える場所が地域に必要。
【スポ少】【事業所・企業】
- ・小学3年生までは放課後の「ひまわりクラブ」があるが、その後中学生までの居場所がない。
【子ども会】【民生児童委員】
- ・学校の図書館を一般に開放し、地域での居場所づくりの場としてはどうか。【民生児童委員】

(2) 子どもたちの体験（食育・伝統文化など）に関すること

- ・子どもたちの健全育成のために幼児期、学童期の運動、スポーツは重要。
【NPO】
- ・国際理解と交流文化を目的にしているので、外国語を修得することは有意義であり、その手助けとなると思う。
【事業所・企業】
- ・食育を通じて子どもたちのマナー、身体発達を促進する。
【民生児童委員】【NPO】
- ・子どもたちが地域で生まれ、育っていることを実感し、それを誇りに思えるような地域づくりが大切。そのために祭りや郷土芸能又は昔ばなし、伝説などの学習をし、地域に親しめる郷土教育のような活動を学校等の協力を得て実施したい。
【コミ協】
- ・大人だけでなく子どもも準備段階から手伝っていく過程を増やす方が、「達成感」などの勉強になるのではないかと。
【子ども会】

(3) 子どもたちの自主性に関すること

- ・子どもたちが自主的に参加できる事業を検討する必要がある。
【事業所・企業】
 - ・子どもたちにもボランティアクラブのようなものを作り、してもらいばかりではなく、参加する機会や教育を増やしてはどうか。学校の授業にもあるが授業としてだけのような気がする。
【子ども会】
 - ・子どもたち自身がまとめ企画し活動する場が地域ではあまりみられない。大人や親が出過ぎていっているように思える。大人はあくまで裏方役、子どもたち自身が先頭にたつてまとめ、活動をしていく場を作りあげていく必要がある。
【民生児童委員】
 - ・子どもには子どもの世界（集団）があり、その中で子どもは育っていく。子どもの中からリーダーが出てくるような地域環境が望ましい。
【コミ協】
-

2. 親（大人）について

(1) 親（大人）の教育力に関すること

- ・子どもたちの生活・行動は、全て親の影響を受ける。親がまず地域のコミュニティに参加することが大事。【PTA】【子ども会】
- ・ボランティアで子どもたちにかかわっているが、その親の参加がなく、預けっぱなしのよう関心が薄い。【コミ協】
- ・家庭の事情でスポーツや地域活動に参加できない子どもが多い。親の理解が必要と思う。【スポ少】
- ・子どもたちと接する中で、子ども同士のトラブルは指導者で解決できるが、保護者同士のトラブルや指導者への非難等の問題で退団して行く子どもたちが多。【スポ少】
- ・親の意識改革が必要。【伝統文化】
- ・子どもたちをはぐくむ前に父母の再教育が大切。【スポ少】【民生児童委員】【事業所・企業】
- ・来館者を見て感じるのは、親の社会性の無さである。子どもをしかれない、団体の規律を親が乱す、子どもを放置して親同士で行動する等。まずは親に常識を持ってもらう。そういうことを学び感じられる場所や機会を増やすべきだと思う。【事業所・企業】

(2) 親（大人）の時間・ゆとりに関すること

- ・地域全体で子どもをはぐくむには、大人に時間と気持ちの余裕がなくて難しい。【PTA】【子ども会】
- ・子どもの数が減り、さらに共働き世帯がほとんどの現状で、地域活動をおこなっていくのは大変難しい状況である。心にゆとりがないと地域活動に参加する意欲がわからない。社会全体が仕事重視から家庭重視の考え方に変わっていったらいいのと思う。【子ども会】
- ・子どもの親が子どもと地域に係る行事、ボランティアなどに関心が低い。（自分の子だけで手いっぱい。）また、仕事・家庭の多忙により、気持ちがあっても参加できないなどで特定・少数の人だけしかかかわれていない現状がある。母親・父親双方が、気持ちのうえでも時間的にも余裕の持てる環境（社会）になることこそが地域全体での子ども育成につながると思う。【民生児童委員】

3. 地域について

(1) 地域の人たちの交流に関すること

① 地域の子どもたちと大人の交流について

- ・近所の子どもたちに、まずあいさつなどの声かけをして、子どもたちとの距離感を縮め、目を行き届かせるようにすることから始めたら、子どもたちも地域の大人に対して、自分たちは常に見守られているのだという信頼感を持ってくれるのではないか。【子ども会】【コミ協】【事業所・企業】【伝統文化】
 - ・親以外の大人とのかかわりは子どもにとって、とても大切なことだと思うので、そんな機会が増えればと思う。【PTA】【事業所・企業】
-

・核家族や転勤などの転出・転入、生活の多様化により、地域住民のつながりが希薄だと感じる。緊急時に助け合えるのか不安感を持つ。子どもを持つ世帯だけに限らず、地域全体が顔を合わせる機会が自然に増えれば、知り合いも増え、地域に愛着を持てるのではないだろうか。連帯意識も強まると思う。子どもも、いろいろな世代・考え方の大人と接することで成長すると思うので、交流の場や機会があればいいと思う。 【子ども会】

・核家族が増えているのでお年寄りとお年寄りの交流の場も積極的に増やし、伝統や風習、優しく見守られる安心感などを伝えていけたらよいと思う。

【育成協】【PTA】【民生児童委員】【子ども会】【事業所・企業】

・子どもたちとお年寄りが気軽に会える場所を作る。たくさん学ぶことがあるし、お年寄りにとっては張り合いになる。 【育成協】【事業所・企業】【伝統文化】

・パソコン教室を営んでいる。年配の方と子どもたちが一緒になって（教えたり教わったりと…）ハガキ等の作成（文書入力）や、インターネットで調べものをしたりと、楽しみながら交流できれば良いと考えている。 【事業所・企業】

② 地域の子どもたち同士の交流について

・少子化が進む中、ふだんはなかなか一緒に活動できない異学年との交流を増やして縦のつながりも強めていきたい。 【育成協】

・昔のような、おにごっこや自転車、ボールあそび、どろだんご作りのような遊びを通じて、学年を超えた友達ができる。年上の子の遊びを見て、年下の子たちができることも増え、運動能力もアップするように感じる。 【事業所・企業】

③ 地域の大人同士の交流について

・保護者同士の会合の場を多くし、コミュニケーションの輪が広がれば子どもたちもより素直になれると考える。 【PTA】

・親、大人たちが地域の活動に多く参加し、まずは親、大人たちが交流し、地域の情報、子どもたちの情報を共有することが大事。 【子ども会】【スポ少】

④ 地域の絆づくりについて

・地域住民、親子、子どもたちの絆づくりができる機会を多く作ることが大事。 【育成協】

・子どもを知る。子どもの話を聞く機会を作ることが必要。 【事業所・企業】

・保護者が我が子だけでなく、広く地域の子、地域の人たちとかかわることが大切。 【PTA】

・「知らない人」に対し、保守的になっている現代の中では、顔の見える関係をつくることから始まっていくような気がする。 【子ども会】

・子ども、親、お年寄りの3世代がうまく交流できる環境をもう少し工夫できたらと思う。

【PTA】

・地域コミュニティというくくりの中で乳幼児と中学生の交流会や、地域住民としての中学生と大人と一緒に防災訓練等ができるとうい。 【育成協】【PTA】【民生児童委員】

-
- ・地域で子どもたちとかかわるには、一緒にいる場が必要だと思う。小さな子どもと親が遊び、年長の子どもたちがキャッチボールやサッカーで体を動かす。そのそばで大人が散歩をしたり休んだり、同じ場において顔を合わせていることで自然とつながりもでてくると思う。 【子ども会】

(2) 地域活動への参加に関すること

- ・「子ども」がいない家庭でも、関心を持つことが基本。地域の活動に積極的に参加することも大切なことである。 【事業所・企業】
- ・学校をメインにすると活動は平日が中心、地域をメインにすると活動は休日を中心。どちらも参加するには制約が伴う。参加者の拡大の工夫が今後の課題。 【コミ協】
- ・学校行事（PTA含む）には地域の方が、地域イベントには、子どもたちそして保護者が気軽に参加しあう状況づくりが望ましいと思う。そのためには地域教育コーディネーターの存在が欠かせないし、その手腕も重要。 【PTA】
- ・地域の行事などでもなかなか子どもたちの参加が少ない。子どもが企画にはじめからかかわることで多様な活動が生まれるのが望ましい。 【事業所・企業】

(3) 地域への期待・要望

- ・地域全体が、子どもたちを「自分の子どもと思う」基本姿勢が理想。 【コミ協】
 - ・地域全体で子どもたちを育て、子どもたちを新しい時代を切り開く豊かな人間として育てていくべき。 【PTA】
 - ・地域の住民全体が地域の子子どもたちを見守り、育てていくことを自覚することが大切。（役員になった人たちだけに頼らない、人まかせにしない、協力精神をもつこと） 【育成協】
 - ・地域での子どもたちの様子・環境（居場所等）を常に大人が関心を持って見守り、安心安全の町づくりを目ざしたい。 【民生児童委員】
 - ・親の収入によって与えられる活動に格差が大きくなっている。地域全体で子どもたちをはぐくむという発想はすばらしいと思う。 【事業所・企業】
 - ・親、大人の中から見て危険なことを子どもたちだけでやっていたら、遠慮しないで指導できるような雰囲気に地域全体がなればよい。 【PTA】
 - ・子どもは地域の宝、自分の子と思って接し、教える（しつける）。あいさつ（声かけ）運動、子ども預かり運動、勉強会（家庭教師）、宿題の手伝いをする。 【NPO】
 - ・地域ではぐくむことは大切だと思うが、人材、空間（環境）などが求められると思う。高齢者世帯の増えている実情をしっかりとらえ、地域の活性化に必要なことは何か、課題をしっかりとみつめて解決していかなければならないと思う。地域のみんながよりよい暮らしになってこそ子どもたちは元気に安全に育つものではないだろうか。 【ガールスカウト】
 - ・地域全体で大人が子どもたちを守りすぎてもいけないが、放任しすぎても良くない。子どもたちにも考えさせ、間違っているようなことをしたら、どうしていけないのか、大人が教えてあげることが良いと思う。 【民生児童委員】
-

-
- ・今の世の中はスピードが勝負・命なのか、子どもたちの興味対象となることからの「熱しやすく、冷めやすい」サイクルが非常に速い。世代別の温度差もあり「地域全体で…」という理想を実現するには、ハードルが高いと思う。「みんな違ってみんな…、不平等の平等…」みたいなことの方がおもしろい発想で活動できると思う。ものや情報があふれすぎている時代、難しい課題だ。 【事業所・企業】
 - ・地域全体で子どもをはぐくむことはとても大切なことである。しかし、掲げたミッションが大きいためか、現実的な動きはほとんどない。重要なのは面で支える仕組みである。どうしても行政や組織のつながりが縦割りであったり、個と個であったりするため、何か活動する力が地域で生まれても、活動できる力が育っていくための場が与えられず、つなげられず、パワーレスしている状況があちこちで見受けられる。 【スポ少】
 - ・昭和50、60年代の頃のように子どもの声がする時代は何かと活動も考えられたが、今わが町内に子どもはいない…。こちらの方が重大問題のような気がする。 【事業所・企業】
 - ・子どもたちが一生懸命練習して試合に臨んでいるので、地域全体で応援してもらいたい！！ 【スポ少】

4. 団体について

(1) 団体の運営に関すること

- ・子どもたちにかかわるいろいろな組織があるが、第一線で子どもたちと接する機会とかかわる人の数が少ない。 【育成協】
 - ・知識・情報を提供するよりも「考える子ども」を育てることのできるスタッフが不足である。 【NPO】
 - ・大人どうしの役割分担を明確にし、組織のスリム化で、活用しやすいような環境づくりを望む。 【育成協】
 - ・参加者全体がボランティアでは長く続かない。交通費くらいは出ないと。【事業所・企業】
 - ・練習会場が確保できず、週1回だけの練習しかできないので技術力向上が難しい。【スポ少】
 - ・活動の場所が少ないことを感じる。活動したくても会場がなく、あちこち会場を変えて活動している。中には有料のところもあるため負担も大きい。 【ガールスカウト】【スポ少】
 - ・現在良好な状況で活動ができていると思う。下降体にならないように「継続発展させるために今まで以上に努力すること（会員の充実感等）」と考えている。 【民生児童委員】
 - ・子どもの健全育成に関する事業は、現在手薄になっている。今後、社会のニーズを見ながら拡大していきたいと思う。 【NPO】
 - ・住んでいる地域に子どもが少ないため、思うような活動ができないのが現状。【子ども会】
 - ・児童の数が減ってきているのに伝統行事が多く、親が仕事を休んで親の協力で事業を運営している。今後児童数が増加する見込みもないので、数年後には、現状と同じ活動はできないと思う。 【子ども会】
-

(2) 団体の連携に関すること

- ・各組織が横のつながりを強くする。情報交換が大切である。それぞれの立場で地域の状況を把握しビジョンを示すことが大切。【コミ協】
- ・各団体が単独で活動をするのではなく、地域内の全団体が合同で事業や活動を計画し、地域の大人が参加できるようにする。【事業所・企業】
- ・行政・関係機関・関係団体及び学校等との連携を有機的に展開することが重要である。その中で子どもたちの育成活動について、地域での対応の在り方について、しっかりと話し合う場を作ることが最も重要である。【PTA】
- ・子どもたちにかかわるあらゆる団体、組織が地域コミ協を中心にネットワーク化されることが地域力を高める。【民生児童委員】
- ・子どもたちのスポーツの機会を充実させるために、各関係団体は連携を図りながら地域全体で気軽にスポーツを楽しめる環境をつくるのが大切。【NPO】
- ・子どもたちを支えるさまざまな団体が、コミュニケーションを取り、活動の場を広げることができれば、更に充実したものになるのでは。その実現のためには、やはり地域の子どもの毎日通う、学区の校長先生と、地域の代表の方とのコミュニケーションの場が必要。【PTA】【事業所・企業】
- ・小学校・中学校の連携が一番大切だと思う。学校・PTA・地域住民が学校での子どもたちの様子を知ること、理解することが必要である。あるがままの情報交換が三者でできるようになることが望まれる。個人情報の開示ができないことが妨げになることがあるように思う。【コミ協】

5. 行政・学校・企業・地域の団体への要望

【全般に対して】

- ・もっと子どもたちがいろいろなことにチャレンジできるように、体験活動できる場所をふやしてほしい。【子ども会】
 - ・雨や雪でも遊べるような屋内施設がほしい。【子ども会】
 - ・近くに子どもの遊ぶ”ミニ水辺”が欲しい。【事業所・企業】
 - ・日本人を自覚し生きていくのには何が大切なのだろうと考えた時、やはり「文化」だと思う。「食文化」「伝統芸能」「祭」「風習」など、今まで日本人が脈々としてきたことを大切にすべきだと思う。子どもたちにも「文化」にふれる教育をお願いしたい。【事業所・企業】
 - ・自治体・商工会など、子どもたちのための催しを考えてもらいたい！！【スポ少】
-

-
- ・地域の中に子どもたちをはぐくむ活動をしている団体は多数ある。それぞれの団体の活動内容は有意義で、子どもにとっても意味のあることだとは思っているのだが、あまりにも数が多すぎる。いくつもの団体をかけ持ちで会員になっている人も多数いる。本当に子どもたちの健全育成を図るためには、団体を集約し活動内容をより専門性を高めて、子どもたちの現在、未来に直結する有意義なこと、あるいは学校教育ではできないようなことをやっていくべきかと思う。現状は、大人の自己満足で終わっている（子どもたちには何も影響を与えていない）活動が多すぎる気がする。【PTA】

【行政に対して】

① 教育行政について

- ・地域にとって学校の存在は大きなものであり、単純に規模による学校再編を論じるのではなく、学区割の検討を行うなど、現在あるものを活かすための方策を考えてほしい。【PTA】
 - ・今の教職員は余りにも多忙である。それも机の上でコンピュータに向かわねばならない内容の仕事が多く、子どもたちに寄りそう時間が確保できない。このような実態を思うと、地域が学校に協力したり、学校にかかわったりすることは大切であると思うが、そのために増えた仕事を学校に押しつけて、一層、教職員の負担を増やすことはしないでいただきたい。教職員が教育者としての本来の仕事ができる環境にしてほしいと切望する。余裕のないところにより教育はできないので。大局的に見れば、このことは、子どもたちをはぐくむことと大きな関連性があると思う。【事業所・企業】
 - ・私は安易に一般の人たちを学校支援ボランティアという名目で小学校の教育の現場へ入れることは反対である。それより、より質の良い教師を育成し人数を増やすことを考えるべきだと思う。それを申し上げると、教育の予算が少ないとか、足りないとか、という話になるのだが、だからと言って、誰でも良いから、やりたい人に何かと手伝わせるというのもとても変な話だと思う。良い学校を作ることをお考え下さい。（質の良い教師が使命感を持って、働ける場を作ることが優先である。）地域うんぬんの前に、学校の中身の充実を図っていくことこそが、とても大切なことだと思う。【事業所・企業】
 - ・「地域と学校パートナーシップ事業」に対しての市民へのPR展開は、現状ではとても十分とは言えない（認知度は極めて低い）。【民生児童委員】
 - ・障がい児の放課後支援事業を行なっている。年々利用者が増え、この夏休みは申し込み者の半分近くをお断りせざるを得ない状況である。各地域の学校施設（特別支援教室）等の利用とともに、支援員（介助員）等の協力をしていただき、その地域で障がいの子どもがいてあたりまえの教育をお願いする。【NPO】
 - ・小学校の学校開放は、校区単位ではなく市全域からの参加が可能となるよう、制度改革に向け働きかけをお願いする。【スポ少】
 - ・学校をもう少し開放してほしい。【育成協】
-

② 住民意識について

- ・「地域の子ども」という意識を住民全体が共有できるようにするべきだと思う。そのためには民生委員、町内会などを中心に、そういう体制を作っていくように行政が働きかけていくようにすれば良いのではないかと思う。 【NPO】

③ 行政組織について

- ・行政は福祉関係の部署担当と教育委員会所管があり分散している。力を発揮するには整理統合が必要である。 【民生児童委員】
- ・新潟市の縦割行政の弊害がある。例えば「ふれあいスクール」と「ひまわりクラブ」の問題等。 【育成協】
- ・ひまわりクラブの運営については、現状は市社会福祉協議会に委託しているが、今後は地域密着型にして各区役所・区社協単位にして、きめ細かい対応をすべきでは。 【民生児童委員】
- ・民生児童委員は児童の問題として児童虐待や不登校問題等が中心であり、教育委員会の動きや学校教育の問題、就学支援等に対する情報がほとんど入らない。 【民生児童委員】

④ 活動支援について

- ・活動資金（大会参加費、協会参加費）の補助。 【スポ少】
- ・新潟市の古紙行政収集地域活動助成金は、コミュニティ協議会は受けられるが、それ以外の団体は受け取れない。今まで行っている事業は、新規性がないと断られてしまう。青少年育成協議会も助成金を使い易くしてほしい。 【育成協】
- ・地域での行事（祭りや運動会的なもの）をもっと増やして、地域の大人や子どもたちがふれあえる場面を増やしてほしい。行政からの資金援助も必要。 【伝統文化】

⑤ その他

- ・社会や地域ができることは、インフラ整備（行政予算の投入）と支援体制（ボランティア）である。 【コミ協】
 - ・新潟市には子どもたちをはぐくむ場が本当に少ないと思う。いろいろな施設はあるが使いにくい。地域の子どもたちは無料にしたり、回数券を配布したりしてはどうか（自然科学館、プール、体育館、水族館、植物園等）。冬は特に行く場所や、赤ちゃん・小さい子が遊ぶ場がなくて困っている。子育て支援センターだけでまかなえると思ったら大間違いである。子育て支援センターは駐車スペースも限られている。新潟市はもっと「お金にならないこと」に力を入れてほしい。 【子ども会】
 - ・生涯学習活動について、生涯学習のインストラクター1級の有資格者が市内や県内にどのくらいいるのか把握しているのだろうか。我々は仲間同士で活動を展開しているが、限界がある。どうか、名簿を整理し、あらゆるインストラクターの活動支援を強く要望するものである。（市と県の連携状態も不可欠） 【事業所・企業】
-

-
- ・地域で主たる代表を務める人に対して独断でものごとを行なわぬように行政で指導又はマニュアルを作成して欲しい。広く地域の住民の意見を取り入れず活動していることが多々あるように思う。【事業所・企業】

【学校に対して】

- ・学校にはカリキュラムがあり、その中へ地域が入り込む余地が無いのが現状ではなかろうか。学校と地域（コミ協）とのつながりが希薄である。【コミ協】
- ・子どもたちを地域ではぐくむ中で小学校のかかわりが最近非常に薄くなっている。学校側の無責任さを感じるが多くなった。【スポ少】
- ・高齢化社会、ますます多くの元気な高齢者が増える。何か地域に貢献したいと思っている人も多くいると思う。しかし、何をどうしたらよいかかわからない人も多いただろう。特に、子どもにいろんなことを伝えたい、応援したいと思っている人は多くいると思う。学校支援のために学校側からもっと、メッセージを出すべきだ。【民生児童委員】
- ・親が子どものために活動するのは当たり前のことだが、その親の世代（お年寄）が、学校にかかわることのできるきっかけが必要。【PTA】
- ・生徒の意識を変えるのに、体験学習として地域の会社へ講習、出向いて仕事をするのは大変良いことと考える。【PTA】
- ・休みの日にはグラウンドを誰でも自由につかえるように開放し、子どもの交流の場にしてほしい。【事業所・企業】
- ・日本にはすばらしい伝統文化が存在している。外国へ活動を広げるとき、日本のアイデンティティが求められる。伝統を正確に伝えるため、学校教育の中で小さい頃からその環境を作ることが大切だと思う。【事業所・企業】

【企業に対して】

- ・各企業団体に属している者もまた、自分の地域を持っているので、各地域に帰属し活動できるような企業環境を整えてやることができればよいと思う。【事業所・企業】
 - ・今後は地域にある企業等のCSR（Corporate Social Responsibility＝企業の社会的責任）をうまく引き出し、人・資金面での拡充を図る必要がある。【NPO】
 - ・教育現場での問題点などについて民間企業を利用して、子どもたちを手厚くフォローしてあげたら良い。【事業所・企業】
-

6. 地域全体で子どもたちをはぐくむ事例紹介

【地域において…】

- ・「地域の伝承文化である神楽舞を後生に伝えよう」と昭和61年、県と市より補助金を受けて「子ども芸能教室」と名づけて開始して以来、地域青少協、小学校の理解と協力で今日を迎えている。毎年の新飯田まつりはもちろん、市民芸能祭などに出演している。この事業を通して地域づくりを進め、青少年の健全育成にも結びつけている。【伝統文化】
- ・巻地区育成協議会では5つある小学校区を順番に回るウォークラリーを実施し、昨年一巡を果たした。今年度から二巡目に入る。大人たちは子どもたちとの交流を喜び、子どもたちは他校の子どもたちとの友情を深める場となっている。また、地域をよく知る機会ともなっている。【育成協】
- ・私の住んでいる金津地区では今だに地域対抗運動会や各種行事があり、他の所よりは、地域とのかかわり合いが多く、地域みんなで子どもたちを見守り、育てているという感じがする。【PTA】

【学校を中心に…】

- ・入舟コミ協では小学校の協力により、先年よりPTA教室を絆ルームと名称を替え、事務所を開設、毎月第2月曜日に役員会を開き、地域に関する諸問題を始め、学校や子どもたちに関する問題などを話し合い、解決・実行している。【コミ協】
 - ・学校の教科書も使って指導している。生徒が今学校でどんなことをやっているのか関心を持ち、同じ方向で指導したいと考えている。ときには、学校に、音楽会などがあつたら出かけて、活発に活動している姿を、ほめてあげたりしている。それによって、生徒も生き生きとし、学校の様子も話してくれる。昨年は合唱コンクール審査員をした。私が行ったことで、生徒はびっくりしていたが嬉しそうであった。【事業所・企業】
 - ・現在も多数の地域ボランティアの方々に子どもたちの安全（登校時等）、教育（家庭科実習）に、多大なる協力を頂いている。地域の異年齢の交流で、子どもたちの安全が守られ、楽しみも増えている。【PTA】
 - ・私はセーフティスタッフの一員として、毎朝登校時、交差点での事故防止のため、交差点に立っている。赤信号で待っている間、いろんなことを私の方から話しかけている。なれてくると子どもの方から話しかけてくる。こうしたコミュニケーションをはかりながら、子どもたちの健全育成に努めたいと思う。【民生児童委員】
 - ・松野尾小学校で地域教育コーディネーターをしている。学校支援ボランティアとして地域の皆様から、たくさんの活動に参加していただけるようになった。コミ協やPTA活動も活発な地域である。こうした地域の方たちとふれ合い、感謝の気持ちを持ちながら子どもたちは成長していくのだと思う。【事業所・企業】
 - ・西川竹園高校のPTAがやっている「便所の便器を素手で親・生徒・先生が協力してきれいに掃除する」というのは、トイレを汚す子どもと、親が掃除することのありがたさを考えるうえですばらしい試みと考える。【PTA】
-

IV. 全体結果数表

(5) 活動の分野について、あてはまるもの3つまで選び○をつけてください。

	合計	保健・医療 又は福祉の 増進を図る 活動	社会教育の 推進を図る 活動	まちづくり の推進を図 る活動	学術・文 化・芸術又 はスポーツ の振興を図 る活動	環境の保全 を図る活動	食育に関する 活動	防犯・防災 活動	人権の擁護 又は平和の 推進を図る 活動
回答数 (%)	825 (100.0)	141 (17.1)	151 (18.3)	114 (13.8)	300 (36.4)	75 (9.1)	24 (2.9)	106 (12.8)	20 (2.4)

国際協力の 活動	男女共同参 画社会の形 成の促進を 図る活動	子どもの健 全育成を図 る活動	情報化社会 の発展を図 る活動	科学技術の 振興を図る 活動	職業能力の 開発又は雇 用機会の拡 充を支援す る活動	消費者の保 護を図る活 動	その他	無回答
18 (2.2)	8 (1.0)	496 (60.1)	6 (0.7)	4 (0.5)	25 (3.0)	6 (0.7)	72 (8.7)	33 (4.0)

(6) 会員数（事業所・企業は従業員数または職員数と読みかえて回答してください）について、子どもは含めずにあてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。この調査における子どもとは、0歳～中学生までを対象とします。

	合計	1～ 10人	11～ 20人	21～ 50人	51～ 100人	101～ 200人	201人 以上	無回答
回答数 (%)	825 (100.0)	212 (25.7)	155 (18.8)	146 (17.7)	66 (8.0)	48 (5.8)	146 (17.7)	52 (6.3)

(7) 会員の職業として、あてはまる番号にすべて○をつけてください。

	合計	自営業	会社員	公務員	パート・ア ルバイト	主婦・主夫	学生	退職者	その他
回答数 (%)	551 (100.0)	303 (55.0)	341 (61.9)	230 (41.7)	239 (43.4)	362 (65.7)	81 (14.7)	193 (35.0)	61 (11.1)

無回答
44 (8.0)

(8) 活動の曜日として、あてはまる番号にすべて○をつけてください。

	合計	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	特に決まっ ていない
回答数 (%)	551 (100.0)	146 (26.5)	81 (14.7)	88 (16.0)	103 (18.7)	97 (17.6)	92 (16.7)	165 (29.9)	324 (58.8)

無回答
35 (6.4)

(9) 主な活動時間帯として、平日（月～金）とそれ以外の日について、それぞれあてはまる番号にすべて○をつけてください。

① 平日（月～金）

	合計	午前	午後	夜間（午後7時以降）	特に決まっていない	活動なし	無回答
回答数 （%）	551 (100.0)	90 (16.3)	120 (21.8)	145 (26.3)	223 (40.5)	21 (3.8)	83 (15.1)

② 土・日・祝日

	合計	午前	午後	夜間（午後7時以降）	特に決まっていない	活動なし	無回答
回答数 （%）	551 (100.0)	171 (31.0)	133 (24.1)	47 (8.5)	268 (48.6)	20 (3.6)	74 (13.4)

(10) 1回当たりのおおよその実活動時間について、平日（月～金）とそれ以外の日について、それぞれあてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

① 平日（月～金）

	合計	2時間未満	2～4時間未満	4時間以上	活動なし	無回答
回答数 （%）	551 (100.0)	237 (43.0)	152 (27.6)	30 (5.4)	29 (5.3)	103 (18.7)

② 土・日・祝日

	合計	2時間未満	2～4時間未満	4時間以上	活動なし	無回答
回答数 （%）	551 (100.0)	129 (23.4)	211 (38.3)	81 (14.7)	29 (5.3)	101 (18.3)

(11) 年間のおおよその活動日数について、あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

	合計	週に3日以上	週に2日程度	週に1日程度	月に2日～3日程度	月に1日程度	年に3日～5日程度	年に1日～2日程度	無回答
回答数 （%）	551 (100.0)	98 (17.8)	58 (10.5)	39 (7.1)	112 (20.3)	89 (16.2)	99 (18.0)	6 (1.1)	50 (9.1)

問1 地域において、あなたの団体は子どもたちにかかわる活動をおこなっていますか。あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

	合計	おこなっている	以前はおこなっていたが、今はおこなっていない	おこなっていない	無回答
回答数 (%)	825 (100.0)	609 (73.8)	39 (4.7)	122 (14.8)	55 (6.7)

問2 子どもたちにかかわる活動とはどのような活動ですか。あてはまるものを3つまで選び○をつけてください。

	合計	スポーツや体力づくりに関する活動	祭りや伝統行事などを教える活動	学術・文化活動（地域の文化に関する学習や、学術、芸術、読書や読み聞かせに関する活動など）	自然にかかわる活動（自然保護活動や自然観察活動、キャンプ活動など）	子どもたちの中での異年齢交流をおこなう活動	子どもたちと高齢者などの世代間交流をおこなう活動	学校の授業への協力（学習支援、体験教室などへ人材を派遣するなど）	学校の授業以外での学校への協力（学校の環境整備、放課後子ども教室（ふれあいスクール）など）
回答数 (%)	664 (100.0)	159 (23.9)	122 (18.4)	134 (20.2)	60 (9.0)	115 (17.3)	99 (14.9)	99 (14.9)	157 (23.6)

	町内会などの地域活動や地域行事にかかわる活動など	社会福祉に関する活動（高齢者に対する福祉活動、子育て中の家庭に対する育児の手伝いなど）	子どもたちの職業体験など	その他	無回答
	218 (32.8)	72 (10.8)	44 (6.6)	57 (8.6)	55 (8.3)

問3 現在、地域において、あなたの団体でおこなっている子どもたちにかかわる活動はうまくいっていますか。あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

	合計	うまくいっている	うまくいっていない	どちらともいえない	無回答
回答数 (%)	664 (100.0)	468 (70.5)	30 (4.5)	118 (17.8)	48 (7.2)

問4 「うまくいっている」団体のみお答えください。「うまくいっている」要因についてあてはまるもの3つまで
 選び○をつけてください。

	合計	会員が増加している	同じ思いを持った仲間が集まっている	活動拠点がある	活動資金が多い	後継者の育成がうまくいっている	組織内の役割分担がうまく機能している	地域内の学校や幼稚園・保育園などの協力を得ることができている	地域内の公民館や図書館などの連携がある
回答数 (%)	468 (100.0)	36 (7.7)	217 (46.4)	171 (36.5)	18 (3.8)	33 (7.1)	195 (41.7)	170 (36.3)	47 (10.0)

地域内の商店や商工会などとの連携がある	実施している事業が好評である	情報収集がうまくいっている	活動に関する相談先がある	広報活動がうまくいっている	その他	無回答
10 (2.1)	101 (21.6)	10 (2.1)	44 (9.4)	25 (5.3)	16 (3.4)	8 (1.7)

問5 「うまくいっていない」団体のみお答えください。「うまくいっていない」要因についてあてはまるもの3つまで選び○をつけてください。

	合計	会員が減少している	会員の気持ちに温度差がある	活動拠点がない	活動資金が不足している	後継者の育成がうまくいかない	特定の個人への負担が大きい	地域内の学校や幼稚園・保育園などとの連携が図りにくい	地域内の公民館や図書館などとの連携が図りにくい
回答数 (%)	30 (100.0)	19 (63.3)	15 (50.0)	3 (10.0)	5 (16.7)	4 (13.3)	6 (20.0)	5 (16.7)	1 (3.3)

地域内の商店や商工会などとの連携が図りにくい	実施している事業がマンネリ化してきている	情報収集がうまくいっていない	活動に関する相談先が十分でない	広報活動が十分におこなえない	その他	無回答
0 -	1 (3.3)	1 (3.3)	3 (10.0)	7 (23.3)	1 (3.3)	1 (3.3)

問6 地域において子どもたちとかかわる活動をおこなって良かったことはありましたか。あてはまるものをいずれか選び、その番号に○をつけてください。

	合計	良かったことがあった	良かったことはなかった	無回答
回答数 (%)	664 (100.0)	569 (85.7)	12 (1.8)	83 (12.5)

問7 良かったことがあったと思われることはどのようなことですか。あなたの団体にとって、地域にとって、子どもたちにとって、それぞれ、あてはまる番号にすべて○をつけてください。

【あなたの団体にとって】

	合計	新たな会員が加入した	会員の技術や力量が向上した（団体運営にかかわること、プログラムの実施にかかわることなど）	専門性が発揮できた	新たな事業の展開につながった	会員同士の交流が深まった	地域に貢献する意識が高まった	よかったと実感できるようなことはとくにない	その他
回答数 (%)	569 (100.0)	112 (19.7)	149 (26.2)	108 (19.0)	49 (8.6)	349 (61.3)	295 (51.8)	3 (0.5)	31 (5.4)

無回答
5 (0.9)

【地域にとって】

	合計	住民どうしの交流の広がりに貢献した	昔からの住民と転勤・転入世帯などの交流促進が図れた	地域の子どもの交流が図れた	参加した大人が生きがいを感じるようになった	地域住民の間で地域住民としての自覚が強まった	参加した大人たちが新しい知識や技術などを身につけることに貢献した	地域の大人の健康の増進に役立った	地域の自然や歴史などへの関心が高まった
回答数 (%)	569 (100.0)	173 (30.4)	47 (8.3)	367 (64.5)	84 (14.8)	76 (13.4)	48 (8.4)	33 (5.8)	30 (5.3)

地域の人材などの情報の共有・活用が図れた	地域活動が活性化した	地域全体で子どもをめぐむ気運が高まった	多様な世代の交流が広がった	郷土芸能など地域における文化の振興が図れた	よかったと実感できるようなことはとくにない	その他	無回答
59 (10.4)	108 (19.0)	168 (29.5)	124 (21.8)	51 (9.0)	26 (4.6)	7 (1.2)	15 (2.6)

【子どもたちにとって】

	合計	基本的な生活習慣が身についた	自分でできることは自分でする力を身につけた	我慢する力を身につけた	命やもの、自然環境を大切に心がはぐくまれた	他人に対する思いやりの心がはぐくまれた	自分を大切に心がはぐくまれた	好き嫌いのない食事をし、健康な体がつくられた	正しい言葉づかいが身についた
回答数 (%)	569 (100.0)	115 (20.2)	139 (24.4)	113 (19.9)	101 (17.8)	228 (40.1)	69 (12.1)	32 (5.6)	86 (15.1)

良いことと悪いことを判断する力が身についた	社会生活に必要なルールやマナーが身についた	家族を大切に、家族の一員としての役割を果たすことが促進された	いろいろな立場の人を受け入れる心がはぐくまれた	地域の文化・歴史等を大切に心がはぐくまれた	知識・理解を深める学習への関心が高まった	よかったと実感できるようなことはとくにない	その他	無回答
107 (18.8)	229 (40.2)	63 (11.1)	117 (20.6)	88 (15.5)	84 (14.8)	17 (3.0)	42 (7.4)	18 (3.2)

問8 問1で「2. 以前はおこなっていたが、今はおこなっていない」「3. おこなっていない」を選んだ団体のみお答えください。地域において、あなたの団体が子どもたちとかかわる活動をおこなっていない理由として、あてはまるもの3つまで選び○をつけてください。

	合計	会員が減少した	会員の理解が得られない	活動拠点がない	活動資金が不足している、または費用がかかりすぎる	指導者や後継者がいない	特定の個人への負担が大きい	行政等公的機関との連携が図りにくい	他の民間団体等との連携が図りにくい
回答数 (%)	161 (100.0)	32 (19.9)	6 (3.7)	11 (6.8)	12 (7.5)	17 (10.6)	17 (10.6)	16 (9.9)	5 (3.1)

適当な活動がない	活動に関する情報がない	活動に関する相談先が十分でない	メリットがない	組織の目的と合致しない	子どもたちにかかわる活動をおこなう必要性を感じない	その他	無回答
32 (19.9)	17 (10.6)	7 (4.3)	7 (4.3)	31 (19.3)	18 (11.2)	33 (20.5)	21 (13.0)

問9 現在、あなたの団体は、地域において活動をおこなうにあたり、他の団体や機関などとの協力や連携を図っていますか。あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

	合計	協力や連携を図っている	協力や連携を図っていないが、今後は図る必要がある	協力や連携は図っていないし、今後は図る必要はない	無回答
回答数 (%)	825 (100.0)	537 (65.1)	97 (11.8)	101 (12.2)	90 (10.9)

問10 「1. 協力や連携を図っている」を選んだ団体のみお答えください。

①現在、どのような団体や機関と協力や連携を図っていますか。あてはまるものをすべて選び○をつけてください。

	合計	青少年活動団体(子ども会、ボーイスカウト、ガールスカウト、健民少年団、海洋少年団、青少年アドバイザーの会など)	青少年育成協議会	P T A	民生委員児童委員協議会	社会福祉協議会	商工会・商工会議所	コミュニティ協議会、自治会など	婦人会
回答数 (%)	537 (100.0)	78 (14.5)	191 (35.6)	224 (41.7)	131 (24.4)	161 (30.0)	51 (9.5)	294 (54.7)	41 (7.6)

N P O ・ ボランティア団体	民間事業所・企業	スポーツ少年団	伝統文化にかかわる団体	幼稚園・保育園	高齢者福祉施設	小学校・中学校	高等学校・大学・専門学校など	市役所・区役所
76 (14.2)	40 (7.4)	80 (14.9)	58 (10.8)	112 (20.9)	75 (14.0)	363 (67.6)	65 (12.1)	179 (33.3)

公民館・図書館・博物館・美術館等の社会教育施設	その他	無回答
149 (27.7)	39 (7.3)	16 (3.0)

②今後、①で選んだ団体や機関以外でどのような団体や機関との連携を望みますか。あてはまるものをすべて選び○をつけてください。

	合計	青少年活動団体(子ども会、ボーイスカウト、ガールスカウト、健民少年団、海洋少年団、青少年アドバイザーの会など)	青少年育成協議会	P T A	民生委員児童委員協議会	社会福祉協議会	商工会・商工会議所	コミュニティ協議会、自治会など	婦人会
回答数 (%)	537 (100.0)	30 (5.6)	17 (3.2)	16 (3.0)	16 (3.0)	17 (3.2)	16 (3.0)	17 (3.2)	6 (1.1)

N P O ・ ボランティア団体	民間事業所・企業	スポーツ少年団	伝統文化にかかわる団体	幼稚園・保育園	高齢者福祉施設	小学校・中学校	高等学校・大学・専門学校など	市役所・区役所
38 (7.1)	21 (3.9)	13 (2.4)	31 (5.8)	40 (7.4)	31 (5.8)	24 (4.5)	30 (5.6)	22 (4.1)

公民館・図書館・博物館・美術館等の社会教育施設	その他	①で選んだ団体や機関以外で今後連携を望んでいるところはない	無回答
44 (8.2)	3 (0.6)	34 (6.3)	310 (57.7)

問11 「2. 協力や連携を図っていないが、今後は図る必要がある」を選んだ団体のみお答えください。どのような団体や機関との協力や連携を望みますか。あてはまるものをすべて選び○をつけてください。

	合計	青少年活動団体(子ども会、ボーイスカウト、ガールスカウト、健民少年団、海洋少年団、青少年アドバイザーの会など)	青少年育成協議会	P T A	民生委員児童委員協議会	社会福祉協議会	商工会・商工会議所	コミュニティ協議会、自治会など	婦人会
回答数 (%)	97 (100.0)	17 (17.5)	21 (21.6)	24 (24.7)	10 (10.3)	17 (17.5)	8 (8.2)	30 (30.9)	11 (11.3)

N P O ・ ボランティア団体	民間事業所・企業	スポーツ少年団	伝統文化にかかわる団体	幼稚園・保育園	高齢者福祉施設	小学校・中学校	高等学校・大学・専門学校など	市役所・区役所
20 (20.6)	10 (10.3)	9 (9.3)	22 (22.7)	29 (29.9)	15 (15.5)	64 (66.0)	25 (25.8)	22 (22.7)

公民館・図書館・博物館・美術館などの社会教育施設	その他	無回答
27 (27.8)	7 (7.2)	6 (6.2)

問12 「2. 協力や連携を図っていないが、今後は図る必要がある」を選んだ団体の方と「3. 協力や連携は図っていないし、今後も図る必要はない」を選んだ団体のみお答えください。他の団体や機関などとの協力や連携を図っていない理由についてあてはまるもの3つまで選び○をつけてください。

	合計	現在の活動内容では、協力や連携を図る必要性を感じていない	協力や連携を図る適当な相手がない	独自の活動で十分な活動をおこなうことができる	独自の活動で忙しい	今よりも負担が増えるおそれがある	団体の専門性が保たれなくなる	協力や連携を図る具体的な方法などの情報がない	以前に連携したことがあり思うような成果がなかったことがあった
回答数 (%)	198 (100.0)	89 (44.9)	35 (17.7)	51 (25.8)	38 (19.2)	27 (13.6)	7 (3.5)	50 (25.3)	6 (3.0)

その他	無回答
19 (9.6)	14 (7.1)

問13 今後、あなたの団体が他の団体や機関などとの協力や連携に期待することについて、あてはまるもの3つまで選び○をつけてください。

	合計	活動や事業の周知・拡大	人材の育成・確保	事務局機能の充実	活動資金の確保	地域人材の発掘	活動の場所の確保・拡大	専門的な知識の共有	情報収集
回答数 (%)	825 (100.0)	355 (43.0)	267 (32.4)	64 (7.8)	192 (23.3)	205 (24.8)	200 (24.2)	124 (15.0)	162 (19.6)

学習プログラムの共同開発	期待していない	その他	無回答
38 (4.6)	69 (8.4)	25 (3.0)	65 (7.9)

問14 地域全体で子どもたちをはぐくむためには、行政、NPO、企業、学校、地域の団体（地域コミュニティ協議会、子ども会、PTAや青少年団体など）はどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。あてはまるもの3つまで選び○をつけてください。

	合計	親子で参加できる活動や体験の場を充実する	体験活動やスポーツ活動などのリーダーやボランティアを養成する	親や大人どうしが気軽に相談したり、交流できる場をつくる	地域の大人と子どもたちが活動できる場をつくる	仕事と家庭の両立ができるように支援する	学校支援ボランティアのように、学校の活動に地域の人に参加しやすくする	学校施設や企業所有の体育施設などを地域の人が子どもたちが利用しやすくする	「ノーテレビ・ノーゲームの日」運動など、親子がともに過ごす時間の啓発活動をおこなう
回答数 (%)	825 (100.0)	262 (31.8)	117 (14.2)	177 (21.5)	255 (30.9)	120 (14.5)	179 (21.7)	112 (13.6)	48 (5.8)

地域に子どもたちの居場所や遊ぶ場所をつくる	乳幼児期から親子で本に親しむ環境を整える	行政、NPO、企業、学校や地域の団体と、地域の住民とのネットワークをつくる	地域の課題に応じた情報収集をおこない、その情報を提供する	地域の伝統や文化を伝える機会を提供する	地域の自然環境について学び親しむ機会を提供する	その他	無回答
227 (27.5)	19 (2.3)	115 (13.9)	83 (10.1)	108 (13.1)	44 (5.3)	21 (2.5)	82 (9.9)

V. 調查票

平成23年6月1日現在でお答えください。

第1章 あなたの団体についてお答えください。

- (1) 団体名 _____
(2) 代表者名 _____
(3) 所在地 〒 _____ 住所 _____

(4) 記入者（問い合わせ先）

役 職 _____

氏 名 _____

電話番号 () _____

(5) 活動の分野について、**あてはまるもの3つまで選び**○をつけてください。

1. 保健・医療又は福祉の増進を図る活動
2. 社会教育の推進を図る活動
3. まちづくりの推進を図る活動
4. 学術・文化・芸術又はスポーツの振興を図る活動
5. 環境の保全を図る活動
6. 食育に関する活動
7. 防犯・防災活動
8. 人権の擁護又は平和の推進を図る活動
9. 国際協力の活動
10. 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
11. 子どもの健全育成を図る活動
12. 情報化社会の発展を図る活動
13. 科学技術の振興を図る活動
14. 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
15. 消費者の保護を図る活動

16. そ の 他
()

(6) 会員数（事業所・企業は従業員数または職員数と読みかえて回答してください）
について、子どもは含めずにあてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

この調査における子どもとは、0歳～中学生までを対象とします。

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 1～10人 | 4. 51～100人 |
| 2. 11～20人 | 5. 101～200人 |
| 3. 21～50人 | 6. 201人以上 |

事業所・企業は、3ページの

「第2章 地域において、あなたの団体の子どもたちにかかわる活動の様子」

(7) 会員の職業として、あてはまる番号にすべて○をつけてください。

- | | |
|--------------|--------------------------------|
| 1. 自営業 | 5. 主婦・主夫 |
| 2. 会社員 | 6. 学生 |
| 3. 公務員 | 7. 退職者 |
| 4. パート・アルバイト | 8. その他（ ） |

(8) 活動の曜日として、あてはまる番号にすべて○をつけてください。

- | | |
|-------|--------------|
| 1. 日曜 | 5. 木曜 |
| 2. 月曜 | 6. 金曜 |
| 3. 火曜 | 7. 土曜 |
| 4. 水曜 | 8. 特に決まっていない |

(9) 主な活動時間帯として、平日（月～金）とそれ以外の日について、それぞれあてはまる番号にすべて○をつけてください。

① 平日（月～金）	② 土・日・祝日
1. 午前	1. 午前
2. 午後	2. 午後
3. 夜間（午後7時以降）	3. 夜間（午後7時以降）
4. 特に決まっていない	4. 特に決まっていない
5. 活動なし	5. 活動なし

(10) 1回当たりのおおよその実活動時間について、平日（月～金）とそれ以外の日について、それぞれあてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

① 平日（月～金）	② 土・日・祝日
1. 2時間未満	1. 2時間未満
2. 2～4時間未満	2. 2～4時間未満
3. 4時間以上	3. 4時間以上
4. 活動なし	4. 活動なし

(11) 年間のおおよその活動日数について、あてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 週に3日以上 | 5. 月に1日程度 |
| 2. 週に2日程度 | 6. 年に3日～5日程度 |
| 3. 週に1日程度 | 7. 年に1日～2日程度 |
| 4. 月に2日～3日程度 | |

問4 「うまくいっている」団体のみお答えください。

「うまくいっている」要因についてあてはまるもの3つまで選び○をつけてください。

1. 会員が増加している
2. 同じ思いを持った仲間が集まっている
3. 活動拠点がある
4. 活動資金が多い
5. 後継者の育成がうまくいっている
6. 組織内の役割分担がうまく機能している
7. 地域内の学校や幼稚園・保育園などの協力を得ることができている
8. 地域内の公民館や図書館などとの連携がある
9. 地域内の商店や商工会などとの連携がある
10. 実施している事業が好評である
11. 情報収集がうまくいっている
12. 活動に関する相談先がある
13. 広報活動がうまくいっている
14. その他（)

次のページの「問6」へお進みください。

問5 「うまくいっていない」団体のみお答えください。

「うまくいっていない」要因についてあてはまるもの3つまで選び○をつけてください。

1. 会員が減少している
2. 会員の気持ちに温度差がある
3. 活動拠点が無い
4. 活動資金が不足している
5. 後継者の育成がうまくいかない
6. 特定の個人への負担が大きい
7. 地域内の学校や幼稚園・保育園などとの連携が図りにくい
8. 地域内の公民館や図書館などとの連携が図りにくい
9. 地域内の商店や商工会などとの連携が図りにくい
10. 実施している事業がマンネリ化してきている
11. 情報収集がうまくいっていない
12. 活動に関する相談先が十分でない
13. 広報活動が十分におこなえない
14. その他（)

次のページの「問6」へお進みください。

問6 地域において子どもたちとかかわる活動をおこなって良かったことはありませんか。あてはまるものを**いずれか**選び、その番号に○をつけてください。

1. 良かったことがあった → このページの「問7」へお進みください

2. 良かったことはなかった → 7ページの「第3章 あなたの団体と他の団体や機関などとの協力や連携の状況について」へお進みください

問7 良かったことがあったと思われることはどのようなことですか。

あなたの団体にとって、地域にとって、子どもたちにとって、それぞれ、**あてはまる番号にすべて**○をつけてください。

【あなたの団体にとって】

1. 新たな会員が加入した
2. 会員の技術や力量が向上した（団体運営にかかわること、プログラムの実施にかかわることなど）
3. 専門性が発揮できた
4. 新たな事業の展開につながった
5. 会員同士の交流が深まった
6. 地域に貢献する意識が高まった
7. よかったと実感できるようなことはとくにない
8. その他（)

【地域にとって】

1. 住民どうしの交流の広がりに貢献した
2. 昔からの住民と転勤・転入世帯などの交流促進が図れた
3. 地域の子どもたちとの交流が図れた
4. 参加した大人が生きがいを感じるようになった
5. 地域住民の間で地域住民としての自覚が強まった
6. 参加した大人たちが新しい知識や技術などを身につけることに貢献した
7. 地域の大人の健康の増進に役立った
8. 地域の自然や歴史などへの関心が高まった
9. 地域の人材などの情報の共有・活用が図れた
10. 地域活動が活性化した
11. 地域全体で子どもをはぐくむ気運が高まった
12. 多様な世代の交流が広がった

- 13.郷土芸能など地域における文化の振興が図れた
- 14.よかったと実感できるようなことはとくにない
- 15.その他（

)

【子どもたちにとって】

1. 基本的な生活習慣が身についた
2. 自分にできることは自分でする力を身につけた
3. 我慢する力を身につけた
4. 命やもの、自然環境を大切にする心がはぐくまれた
5. 他人に対する思いやりの心がはぐくまれた
6. 自分を大切にする心がはぐくまれた
7. 好き嫌いのない食事をし、健康な体がつくられた
8. 正しい言葉づかいが身についた
9. 良いことと悪いことを判断する力が身についた
- 10.社会生活に必要なルールやマナーが身についた
- 11.家族を大切にし、家族の一員としての役割を果たすことが促進された
- 12.いろいろな立場の人を受け入れる心がはぐくまれた
- 13.地域の文化・歴史等を大切にする心がはぐくまれた
- 14.知識・理解を深める学習への関心が高まった
- 15.よかったと実感できるようなことはとくにない
- 16.その他（

)

7ページの「第3章 あなたの団体と他の団体や機関などとの協力や連携の状況について」へお進みください。

問8 問

1で「2.

以前はおこなっていたが、今はおこなっていない」「3. おこなっていない」を選んだ団体のみお答えください。

地域において、あなたの団体が子どもたちとかかわる活動をおこなっていない理由として、あてはまるもの3つまで選び○をつけてください。

1. 会員が減少した
2. 会員の理解が得られない
3. 活動拠点がない
4. 活動資金が不足している、または費用がかかりすぎる
5. 指導者や後継者がいない
6. 特定の個人への負担が大きい
7. 行政等公的機関との連携が図りにくい
8. 他の民間団体等との連携が図りにくい
9. 適当な活動がない
10. 活動に関する情報がない
11. 活動に関する相談先が十分でない

17. 市役所・区役所		
18. 公民館・図書館・博物館・美術館等の社会教育施設		
19. その他（ ）		
20. ①で選んだ団体や機関以外で今後連携を望んでいるところはない		

13」へお進みください。

問11 「2. 協力や連携を図っていないが、今後は図る必要がある」を選んだ団体のみお答えください。

どのような団体や機関との協力や連携を望みますか。

あてはまるものをすべて選び○をつけてください。

協力・連携の相手先	今後
1. 青少年活動団体（子ども会、ボーイスカウト、ガールスカウト、健民少年団、海洋少年団、青少年アドバイザーの会など）	
2. 青少年育成協議会	
3. PTA	
4. 民生委員児童委員協議会	
5. 社会福祉協議会	
6. 商工会・商工会議所	
7. コミュニティ協議会、自治会など	
8. 婦人会	
9. NPO・ボランティア団体	
10. 民間事業所・企業	
11. スポーツ少年団	
12. 伝統文化にかかわる団体	
13. 幼稚園・保育園	
14. 高齢者福祉施設	
15. 小学校・中学校	
16. 高等学校・大学・専門学校など	
17. 市役所・区役所	
18. 公民館・図書館・博物館・美術館などの社会教育施設	
19. その他（ ）	

次のページの「問12」へお進みください。

問14 地域全体で子どもたちをはぐくむためには、行政、NPO、企業、学校、地域の団体（地域コミュニティ協議会、子ども会、PTAや青少年団体など）はどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。

あてはまるもの**3つまで**選び○をつけてください。

1. 親子で参加できる活動や体験の場を充実する
2. 体験活動やスポーツ活動などのリーダーやボランティアを養成する
3. 親や大人どうしが気軽に相談したり、交流できる場をつくる
4. 地域の大人と子どもたちが活動できる場をつくる
5. 仕事と家庭の両立ができるように支援する
6. 学校支援ボランティアのように、学校の活動に地域の人に参加しやすくする
7. 学校施設や企業所有の体育施設などを地域の人や子どもたちが利用しやすくする
8. 「ノーテレビ・ノーゲームの日」運動など、親子がともに過ごす時間の啓発活動をおこなう
9. 地域に子どもたちの居場所や遊ぶ場所をつくる
10. 乳幼児期から親子で本に親しむ環境を整える
11. 行政、NPO、企業、学校や地域の団体と、地域の住民とのネットワークをつくる
12. 地域の課題に応じた情報収集をおこない、その情報を提供する
13. 地域の伝統や文化を伝える機会を提供する
14. 地域の自然環境について学び親しむ機会を提供する
15. その他（）

問15 地域全体で子どもたちをはぐくむことについて、ご意見をご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力いただき、ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて、7月11日（月）までにご投函くださいますようお願いいたします。